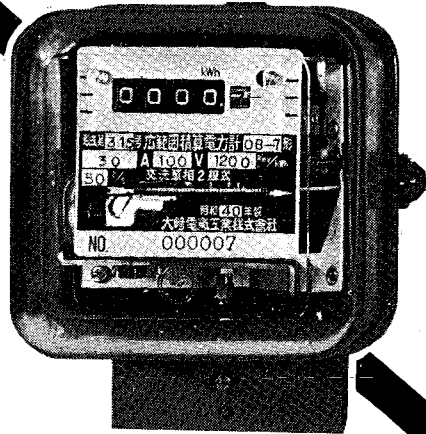


Osaki

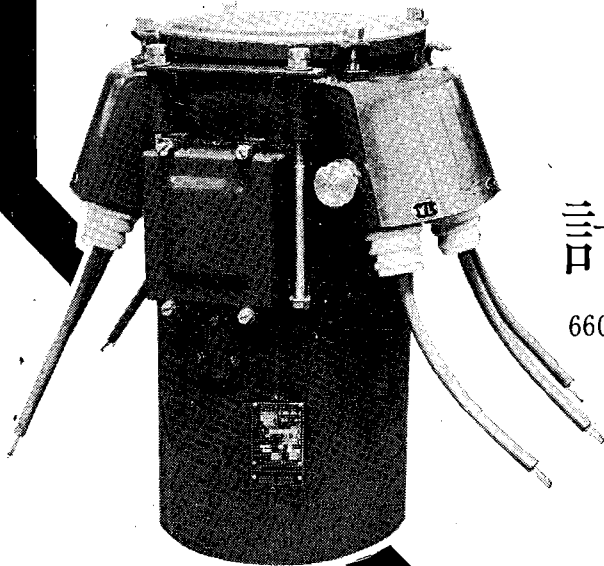
最高の確度と信頼度を持つ

積算電力計

(単相用 OB-7)
(3相用 OW-7)



OB-7型広範囲単相積算電力計



計器用変成器

6600V用重予型PCT PDN形

— 主要製品 —

積算電力計・電流制限器
計器用変成器・電圧調整器
配電盤・分電盤・制御盤



大崎電氣工業株式会社

本社・五反田工場 東京都品川区五反田1の263 電話東京(443) 7171代表
蒲田工場 東京都大田区原町10 電話東京(732) 6511代表
埼玉工場 埼玉県入間郡三芳村大字藤久保 電話所沢(22) 1205代表

私の言葉.....梶浦暲.....(1)

故式場隆三郎会長の葬儀
劇団民芸の大合唱
故人にふさわしい盛儀.....(2)
オリンピックを見てもらいたかった.....
.....田畑政治.....(3)

第3回女子7人制世界選手権大会

日本7位。待望の初勝利.....(4)
西ドイツ15-7 日本.....(4)
デンマーク10-9 日本.....(5)
ユ - ゴ9-5 日本.....(6)
日本6-5 ポーランド.....(7)
国際親善試合成績.....(8)

オリンピック特集

多い「ナショナルチーム編成」の声
思い出す協会設立のころ.....塩沢幹.....(12)
若い力を育てよ.....宗形年闊
金メダル目ざせ.....棚橋義輝
みんなでバックアップを.....渡辺和美.....(13)
すばらしいプレゼント.....栗脇 巖
中学の必修課目に.....万代秀三郎
練習に全力を.....嶋田重春
まず強化対策を.....馬場太郎.....(14)
綿密な計画を.....福島富造
実を結んだ努力.....村山 寛
国内外の永年の辛苦実る.....杉山 茂.....(16)
ナショナルチームの結成へ.....越智 武
一丸となって.....山田 計
大型チームの編成を.....藤田信義.....(21)

楽書帳 故式場会長に黙とう.....鴛尾武治.....(22)
時評 すぐ次の対策を.....(22)

海外ジャーナル

学校教育としてのハンドボール入門2.....(18)

海外スコープ

第6回男子7人制世界選手権展望.....(20)
第18回全日本学生王座決定戦
芝浦工大、堂々と5連勝.....(25)

関西学生 同志社大9回目の優勝.....(26)
関東学生 2部は早大1位.....(28)

高校男女、沖縄へ2度目の遠征.....(28)

第3回東京都選手権大会
大崎電気が初優勝.....(30)

ハンドボール球史・第20回

.....(31)

〔表紙写真〕 女子世界選手権大会でポーランド
を破った瞬間の日本チーム。左から2人目は
宇井主将。

私は球技の名門である大阪天王寺中学、
浪速高校(旧制)と学生時代は大阪で過ご
しました。スポーツは中学時代から野球
を、また高校時代は野球やらラグビーを毎
日、日が暮れるまでボールを追って走った
ものである。その高校時代のラグビーをや
っていたころ、こんなエピソードがある。
京都大学との定期戦で毎年、100点以上
の差をつけられ、1トライの実績もない状
態であった。

卒業前の秋のゲーム中にスクラムから出
たボールを持って50ヤード以上も走り、イ
ンゴール寸前、タックルされながら1トラ
イをあげた。敗れたりとはいえ、大に意
気が上がり、後輩のためよき実績となった。
そのときの感激は、いまなお忘れることの
できない思い出である。この感激こそ、ス

ジュニアの養成を

梶浦暲

(愛媛県協会展長)

スポーツの場の良いところである。
ハンドボール協会長をお受けする動機
は、全然しろうとである私に、学友であり、
現愛媛県ホッケー協合理事長の佐藤氏のす
すめや、県協会の幹部の方のすすめによる
ものである。昭和26年には西日本大会、27
年には全日本東西対抗、28年には第8回国
体ハンドボール競技を今治市で開催し、歴
史の第一歩を進んだのである。また31年に
は西日本大会を、32年には宿望の全国高校
大会を松山で開催しました。その間、全国

ものでした。新興スポーツであり、青少年
に最適であるこのハンドボールに関心を持
ち、スポーツを根から好きであるこの気持
ちが私を動かしたのです。
協会発足いらい15年。ようやくハンドボ
ール人口もふえ、レベルも全国水準に達し
た。一般男女、高校男女、教員と全国大会
に毎年優秀な成績を残している。この15年
間の協会の苦労こそ、その実績が表明して
いるのです。昭和26年には西日本大会、27

的レベルである技術を目の前で見せつけら
れ、その向上に大いに貢献してきました。
また協会発展にはよき指導者、協力者を得
ることこそ重大なことです。かつて国際ゲ
ーム、全日本選手権、東西対抗の選手権を
持ち、そのメンバーであった現松山商科
大学越智武氏や新居浜工高の高橋満年氏を
中心に、幹部の方の協力体制がよくできて
いることです。現副会長であり、今治市教
育委員会、保健体育課長の藤田昭明氏こそ
忘れ得ぬ人物である。現在の最大の目標は
全国大会での優勝です。四国の土地に優勝
の喜びを持っていくことです。この目的達
成にはジュニアを養成すること、中学校の
教材への採択、中体連への呼びかけなど残
された問題はたくさん残っている。

私
の
言
葉

故式場隆三郎会長の葬儀

劇団「民芸」の大合唱

故人にふさわしい盛儀



〔ありし日の式場会長〕 日本女子チーム歓送会に出席した式場会長。右端はあいさつする高嶋団長、式場会長の左はポルトガル協会のファースト会長、右は馬場副会長。
(10月20日・体協で)

輝く勲記、勲章、褒章

11月27日・青山葬儀所で

故式場会長と本誌

第2次大戦後の日本ハンドボール界と、文字どおり苦楽をともにされた故式場隆三郎会長の思い出は尽きない。球界のすべての事業が故会長の恩恵を受けているのと同じように、本誌もまた、故会長のなみなみならぬご厚意によって誕生し、育ってきたといつてよい。

本誌の創刊は昭和35年5月。創刊できたのは、故会長がボンと投げ出してくださったポケットマネーによるもの。その後も、本誌の運営には多大の関心を払ってくださった。そのご援助も再三ならず、しろうとの作る雑誌はすぐつぶれるなどという心配を通り越すことができた。物資面だけでなく、故会長自身、かつては東京タイムズ社長をつとめられ、また医学界の同志と随筆雑誌なども手がけられていたことから、編集内容にもたびたびアドバイスをいただいていた。

「出しているだけではなく、人々に読まれる雑誌を作るのはたいへんむずかしいものですヨ」と言われた言葉は特に忘れられない。本誌もようやく、協会の事業の一つとして根をおろしてきた。式場会長の功績は大きい。

故式場隆三郎会長の葬儀は11月27日正午から東京・青山葬儀所で盛大に行なわれた。葬儀所前の広場には日本ハンドボール協会、東京都ハンドボール協会からの花輪をはじめ花輪の数は約100。入り口には関東学連、東京都高体連の各チームが校旗を立てた。

祭壇中央には式場会長の遺影。そのすぐ下には政府から追贈された「正五位勲三等」の勲記、勲章、それに藍綬褒章が飾られた。祭壇の左側に秩父宮妃殿下からの生

花、右側に高松宮殿下からの生花、さらに自民党総裁佐藤栄作氏、同幹事長田中角栄氏、日本ハンドボール協会、東京都ハンドボール協会、全日本実業団ハンドボール連盟、全日本学生ハンドボール連盟、全国高体連ハンドボール部、日本体育協会長石井光次郎氏(法務大臣)、日本医師会、劇団「民芸」、その他関係団体からの生花が飾られ、故人の業績にふさわしい盛儀だった。

式は日本医師会会長の武見太郎

氏が葬儀委員長となり、日本ハンドボール協会から副会長馬場太郎、同鈴木達雄(レナウン工業社長)、全日本実業団連盟から古賀和佐雄会長、東京都協会から渡辺和美会長、外山准二理事長、黒川正雄理事、小田善一東京タイムス社長、スポーツ団体から松方三郎(日本山岳会会長)、山辺貞雄(日本体育協会事務局次長)らが参列。馬場副会長が弔辞を読み上げた。劇団「民芸」を代表して俳優宇野重吉氏の弔辞、劇団「民芸」

の座員による大合唱があったあと、一般告別式は八田一朗氏(日本アマチュア・レスリング連盟会長)、宇佐美日本銀行総裁、ハンドボール界から三浦元秀(芝浦工大事務局次長)、渡辺五郎兵衛(新潟、村田弘(大阪)、井田万三郎(埼玉)、亀岡成昌(愛知紡)、レナウン女子チーム、古賀健一郎(千代田印刷機専務)、全日学連、高体連、中体連、東京都協会役員らが焼香した。

(了)

(了)

式場さんの思い出

オリンピックを見てもらいたかった

田畑 政治

(日本体育協会理事)

もうずっと前に式場さんが、ガ
ンで再起不能と聞いていた。こと
しの春であったか、ハンドボール
選手の中国遠征の歓送会るとき、

式場さんの元気なお姿を見て、い
い意味で意外の感を持ったことを
思い出す。その後はお会いしてい
ないので、今度の訃報は私には突
然のことであっ

た。
私が式場さんに
初めてお会いした
のは、戦後初参加
のヘルシンキ・オ
リンピック大会に
式場さんが視察員
として同行され
たときである。当
時は率直にいつ
も宣伝屋というか
他人を利用する人
というか、そんな
入感があってど
うも好きになれな
かった。その後、式
場さんの親友であ

る東京タイムスの岡村二一君から
岡村君のページ時代、岡村君なら
びに東京タイムスにたいして式場
さんの寄せられた誠意ある配慮の
話を聞き、心温まる思いがした。
そして私の印象は誤解であるにち
がいないと思うようになった。そ
れでも、どこか心のすみにひっか
かるものが残っていた。

それが今回、真に式場さんを知
る人たちの弔辞で、その人柄や数
々の輝かしい業績を聞いてすっか
り消え去り、逆に長い間の自分の
不明を恥じて心から死去をいたむ
気持ちになった。ここに謹んで
おわび申し上げます。

私がいま思い起こすのは、前述
のハンドボール選手歓送会するとき
の式場さんのことである。その席
上、私は「なにかいえ」というの
で私は

「東京大会まではハンドボー

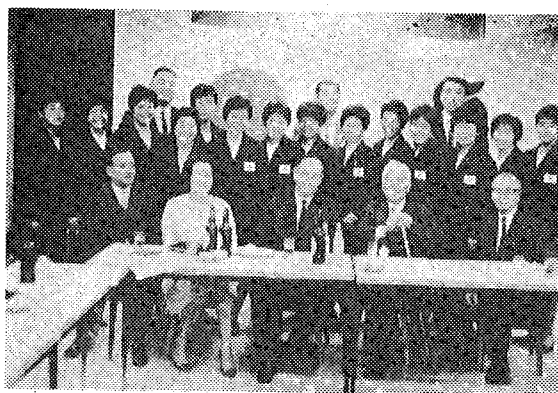
ルがオリンピックで行なわれる
ということは全く考えられない
ことであったが、いまとなると
情勢が一変して、メキシコ大会
の次か、おそくともその次には
必ず加えられることになると思
う。というのは国際オリンピック
委員会がきわめて一部を除
き、その大多数が無定見、無見
識で、いまは通用しない貴族的
特権意識の上にあぐらをかいて
世界スポーツ界から浮き上がっ
てしまう傾向が強くなった。各
国NOCと各国際競技連盟の間
に自らの手でこれを改革しよう
とする意識が盛り上がってき
た。

そのためNOCと国際競技連
盟との間に連帯感が強まり、そ
の連帯感の中からIOCから公
認されていない3競技
では実施されていない3競技
にたいする同情が巻き起こり、
21競技全部やれという意向が支
配的になりつつある。IOCが
いつまでもこの要請を押えるこ
とはできない。この情勢だから
今後1、2回のうちには必ずハ
ンドボールもやれるようになる
。今度の遠征には、それを頭
においてがんばってほしい。

当時は憲章まで改正して18競技
に制限してまでもないときであ
ったから、近く実施競技がふえるなど

考えた人はいなかった。私のこと
ばは実現性のない、単なるうれし
がらせのお世辞と受け取られたか
もしれないが、それでも式場さん
は喜んで、その日が待ちどおしい
という顔をしていられたのをいま
でも覚えてる。さきのIOC総
会で、一般の人たちには全く意外
なことであつたろうが、私の言っ
たとおり、ハンドボールはメキシ
コ大会の次回から21競技全部実施
されることに決定した。
この大会でハンドボール日本代
表選手団が世界の強豪を相手に活
躍する壮観を式場さんに、その目
でぜひ見てもらいたかった。しか
し、それも今となっては不可能の
こととなってしまった。それが私
には、いかにも残念でたまらない
のである。

(了)



日本女子チームと記念撮影、前列左から2人目はポ
ルトガル協会のファースト会長夫人。前列右から2人
目が故式場会長(10月20日夜・岸記念体育館で)



第3回女子7人制世界選手権大会

3. hallenhandball weltmeister-schaft
der Frauen 1962



第3回女子7人制ハンドボール世界選手権大会は11月7日、9日、11日、13日の4日間、西ドイツの各地で行なわれた。日本はソ連の棄権によって、準決勝リーグ(A組)進出の幸運に恵まれた。この結果、準決勝リーグは3戦3敗したが、最終戦の7-8位決定戦で見事ポーランドを1点差で破り、世界選手権大会で初の1勝をあげた。日本チームは1962年の第2回大会いらい10戦目で勝利をあげた。なお日本チームは12月5日の日航機で帰国した。

日本7位、待望の初勝利

2位ユーゴ

優勝はハンガリー、西ドイツは3位

準決勝リーグ成績

A 組		勝数	負数	引分け	勝点	得点	失点
ユゴスラビア	ゴツク本	3	0	0	6	28	15
西ドイツ	ドイマー	2	1	0	4	26	20
デンマーク	本	1	2	0	2	21	27
ハンガリー	本	0	3	0	0	21	34
B 組		勝数	負数	引分け	勝点	得点	失点
ハンガリー	ポーランド	3	0	0	6	31	15
ポーランド	ルーマニア	1	1	1	3	27	22
デンマーク	ポーランド	0	0	1	2	18	21
ポーランド	デンマーク	0	2	1	1	16	34

順位	国	勝数	負数	引分け	勝点	得点	失点
1	ハンガリー	4	5	1	3	5	5
2	ユーゴスラビア	4	5	1	3	5	5
3	西ドイツ	7	7	5	2	3	5
4	デンマーク	7	7	5	2	3	5
5	ポーランド	7	7	5	2	3	5
6	ルーマニア	7	7	5	2	3	5
7	日本	7	7	5	2	3	5

日本、A組で最下位

◇準決勝リーグ

▽第1日(11月7日)

(A組)

西ドイツ 15 (8-1) 7 日 本

ユーゴ 11-6 デンマーク

(B組)

ハンガリー 7-4 チェコ

ルーマニア 4-4 ポーランド

▽第2日(9日)

(A組)

デンマーク 10 (5-1) 9 日 本

ユーゴ 8-4 西ドイツ

(B組)

チェコ 15-7 ポーランド

ハンガリー 9-6 ルーマニア

▽第3日(11日)

(A組)

ユーゴ 9 (4-1) 5 日 本

西ドイツ 7-5 デンマーク

順位	国	勝数	負数	引分け	勝点	得点	失点
1	ハンガリー	15	15	5	3	5	5
2	チェコ	8	8	1	8	1	8
3	ルーマニア	7	7	5	2	3	5
4	日本	7	7	5	2	3	5
5	ポーランド	7	7	5	2	3	5
6	デンマーク	7	7	5	2	3	5
7	ユーゴスラビア	7	7	5	2	3	5

日本、後半に善戦

西ドイツ 15-7 日本

▽11月7日(午後7時20分、西ベルリン・スポーツパレス)

(A組準決勝リーグ)

西ドイツ 15 (8-1) 7 日 本

▽レフェリー フロップ(ハンガリー)

得点 0 2 3 2 2 1 0 0 3 2 0

(西ドイツ) ルンネー

イネ ユマザラケダス

GK (西ドイツ) キホメバギエクドヤ

FP (西ドイツ) 谷崎井松原川川木井保藤

本(日本) 古川宇久笠黒早鈴永新加

得点 0 0 4 0 0 1 1 1 0 0 0 0

宇井、がんばる

(評) 西ドイツのスクロオフ。開始直後の30秒に鈴木がシュートしたが、無理な体勢だったので得点にならず。続いて1分30秒に早川もシュート。これも決まらななく単発だ。案のじょう、こちこ

ちになっている。ベンチの声も通らない。最初に得点したのは1分40秒に西ドイツのクリスタである。西ドイツは3分30秒にパウアーのゲットで2-0。日本は7分40秒に宇井が7MTを決めて2-1とした。その後西ドイツに圧倒され、前半終了までシュートはたった3本。これがみんなはずれた。結局前半は宇井の1点だけ。ハーフタイムに8分間、みっちり話す。どうやらひと心地ついたようだ。果たせるかな。後半は全く対等に試合を進めた。会場の大観衆から拍手の波。試合前の西ドイツの練習を見て「これならなんとはいける」と直感したのだが。日本は一昨日までのプレートの50%も力が出なかった。全力を注いだのが、残念。選手たちは「前半はなにをやっていたのか、わからなかった」とか。この試合、宇井の4点はいずれも7MTである。

黒川、猛
然と抗議

惜しい1点差

デンマーク10—9日本

▽11月9日(午後7時15分、ハノーバー・スポーツホール)

(A組準決勝リーグ)

デンマーク 10 (5—4) 9 日本

▽レフェリー ルーマニア

長蛇を逸す

〔評〕 「長蛇を逸す」ということばは、きょうの試合のために用意されていたような気がする。世界選手権での初勝利を目前にし

ながら、10—9とわずか1点差で敗れた。惜しい。

日本のスローオフで開始。1分30秒にまず早川が中央から左下へ決めた。1—0。デンマークは下

が弱い。体育館は割れんばかりの大歓声。きょうは、反則を取られるぎりぎりまでボールをキープするよう指示した。選手たちはこれを忠実に守った。こんなことは、いままでになかったことだ。なんとかやれるぞ」というヒラメキ

順位	対戦相手	年月日	世界選手権回数
●	ハンガリー	1962. 7. 7	第2回世界選手権(ルーマニア)
●	デンマーク	7. 8	"
●	ポーランド	7.11	"
●	西ドイツ	7.12	"
●	チェコ	1965.10.24	第3回世界選手権(チェコ)
●	チェコ	10.26	"
●	西ドイツ	11. 7	(西ドイツ)
●	デンマーク	11. 9	"
●	ユーゴ	11.11	"
○	ポーランド	11.13	"

得点 0 1 1 0 3 1 1 1 0 1 1

(デンマーク) セン セン ニールセン セン セン セン
ハンセン セン セン
ハルルルチ ハニ
テケス デスネ ナル
ナルツネ ナル
アピミア アクレ レニラ

GK FP

本) 谷崎井松原川木井藤保
日) 古川宇久笠黒早鈴永加新
得002000033100

9 (0) 7MT (2) 10

日本のシュートはわずかにはずれる。不運というほかはない。10分から13分までに4本のシュートが決らない。日本の動きはいい。16分30秒、宇井が左45度から猛烈に飛び込んで3—2と1点差に詰める。18分30秒、鈴木が右下に決めて3—3。満場騒然。レフェリーの笛は全く聞えない。19分アネスリー・ニールセンに得点されて4—3となったが、19分30秒サウスプー永井が右下に決めて再び4—4。これで前半終了かと思つたとき、左サイド角度0の地点で、笠原がデンマーク選手にちょっと触れたので7MTを取られた。大

会本部も、観衆も全く意外という表情。結局ラスムセンに7MTを決められて前半は5—4。後半になるとデンマークは猛烈に突っ込んできた。それを黒川が正面から当たる。だれが見ても明らかかなチャージである。ピ、ピ、ピとホイッスルが鳴る。7MTである。あのおとなしい黒川が「私は押されてライungkrossをした」と猛然と抗議したがダメ。このころから満員の観衆や大会役員は日本を応援。レフェリーのジャッジはどう見てもデンマークに有利な形。西ドイツ役員たちは怒り出す。この会場の審判長がデンマークなので、それに義理立てしていいのではないか。こんなことはスポーツマンだからいたくないが、つい「ググチ」が出る。

国際試合には、この程度のことにはツキもの。私はいままですいぶん国際試合を見てきたが、いざ自分がその被害者になってみると虫がおさまらない。黒川と同じようなプレーをデンマークがやっても、7MTにしない。7分30秒早川、13分50秒鈴木、14分10秒宇井が決めて10—7と3点差に詰め寄った。さらに16分30秒早川、18分30秒鈴木が決めて10—9と1点差。ここでデンマークは逃げ込みをはかり、タイムアップまでの1分30秒の間、ローリングに出た。レフェリーがいまにホイッスルを吹くか、いま吹くかと待ったが、ついに吹かず。タイムアップのホイッスルが……。このときの大会役員、観衆の騒ぎはとて日本にはいは想像もつかない。

西ドイツのピリング氏が駆けてきた。「日本はレフェリーに負けた。デンマークはレフェリーのおかげで勝った」と言う。私の親しい友だちがきて「あんなのはハンドボールじゃない。あれが7MTなら、日本には3—4本あった。またタイムアップ10秒前にホイッスルを吹くべきである」と怒り出す始末。しかし負けはあくまで負けである。弁解の余地はない。それにしても対西ドイツ戦。対デンマーク戦でみせた日本女子チームは大いに自信を持っていい。私は思った。中学生で背が高く、動きの早い選手を、また左利きの選手を発掘すべきことを……



ラフ・プレーのユーゴ

ユーゴ 9-5 日本

▽11月11日(午後8時50分、ポツ
フム体育館)

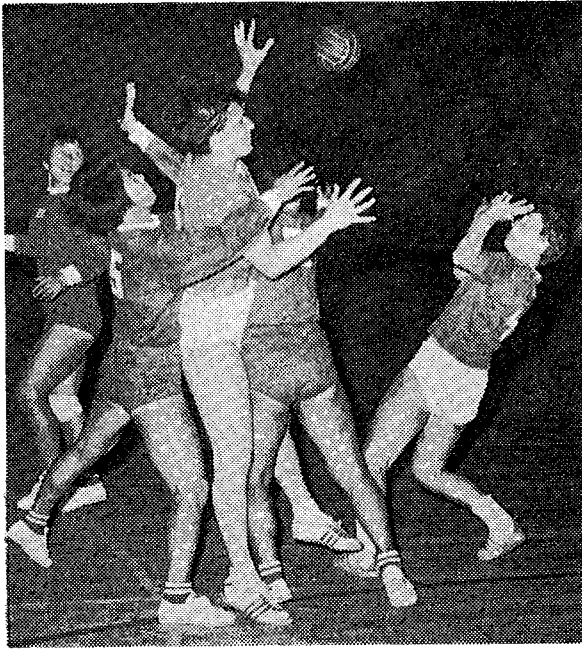
(A組準決勝リーグ)

ユーゴ 9 (5-1-3) 5 日 本

▽レフェリー ハンガリー

へたなレフェリー

【評】午後6時バスで出発。途
中アウトバウンドで接触事故があ



日本対チエコ戦から(チエコ17-9 日本)

り、危うく命拾い。選手たちは一瞬キモを冷やす。西ドイツの新聞によると、きょう常陸宮ご夫妻がハンドボールをご覧になると報じている。みんな大喜だ。
ユーゴは優勝候補だけあってさすがに強いが、絶対負ける相手ではない。前半は全く互角。30秒ユーゴはセゼッチのゲットで1-0とする。3分に早川が決めて1-

得00031022001

クック ビーナ チ

クック ビーナ チ

クック ビーナ チ

クック ビーナ チ

クック ビーナ チ

クック ビーナ チ

クック ビーナ チ

クック ビーナ チ

クック ビーナ チ

クック ビーナ チ

クック ビーナ チ

クック ビーナ チ

クック ビーナ チ

クック ビーナ チ

クック ビーナ チ

クック ビーナ チ

クック ビーナ チ

クック ビーナ チ

クック ビーナ チ

クック ビーナ チ

クック ビーナ チ

クック ビーナ チ

クック ビーナ チ

クック ビーナ チ

クック ビーナ チ

クック ビーナ チ

クック ビーナ チ

クック ビーナ チ

クック ビーナ チ

GK

FP

FP

FP

FP

FP

FP

FP

FP

FP

FP

FP

FP

FP

FP

FP

FP

FP

FP

FP

FP

FP

FP

FP

5 (1) 7 MT (0) 9

谷崎井松原川川木藤井保
日古川宇久笠黒早鈴加永新
得0010000310000
1、ユーゴは3分30秒ベイノビ
チ、5分30秒ラドワノビッチが
めて3-1。9分30秒ベイノビ
チが2点目をあげて4-1。日本
は押し気味に試合を進めている
が、きわどいところでシュート4
本がボールに当たって得点に結び
つかない。ユーゴのベンチは色を
失う。

10分早川が決め、12分宇井が7
MTを決めて4-3と1点差。ユ
ーゴのプレーは感心しない。ラフ
プレーである。「対西ドイツ戦で
ユーゴは柔道をやっていた。あれ
はハンドボールじゃない」と西ド
イツの新聞にこっぴどくたたかれ
ていた。ユーゴの選手が少しで
も、きたないプレーをすると、大
観衆がピーっと口笛を鳴らす。私
の見解では、退場、7MTのケー
スがユーゴに2回はあったと考
えている。今大会のレフェリーは、
あまりよくない。観衆はルールを
よく知っているのだから、レフェ



試合前のベナント交換。(日本-西ドイツ)

リーはちゃんとしたジャッジをし
なければいけない。とにかく前半
は5-3とユーゴがリード。
後半1分に早川のロングシュー
トが右下にあざやかに決まる。5
-4と1点差。「これならイける
!!」と思ったとたん、日本の動き
が急に悪くなった。ただディフェ
ンスがよかったのでひと安心。ユ
ーゴのベンチは目の色を変えて怒
鳴っているが、得点とまらない。
11分宇井が7MTをはずしてか
ら、日本選手の疲れが目立ち、つ
いに万事休す。楽しみにしていた
常陸宮ご夫妻は姿を見せなかつ
た。

日本待望の初勝利

日本6—5ポーランド

▽11月13日(午後4時10分、ドルトムント体育館)

(7—8位決定戦)

日本 6 (4—1) 5 ポーランド

▽レフェリー ルーマニア

10戦目に勝利

(評) 1965年11月13日—日本女子チームにとって記念すべき日である。世界選手権に出場すること二度目、1962年7月7日

得点 0 0 0 0 0 1 1 1 0 1 1
 ショルカ スダカ
 ヤドテミトボラギナリツ
 (ポーランド) 得点 0 0 0 0 0 1 1 1 0 1 1
 ショルカ スダカ
 ヤドテミトボラギナリツ
 (日本) 得点 0 0 1 0 1 0 3 1 0 0 0
 谷崎井松原川川木藤井保
 古川宇久笠黒早鈴加永新
 6 (0) 7 MT (0) 5

日本女子チームの成績 (△印は分け)

期日	勝敗	スコア	チーム	場所	大会名
10.24	●	9—17	チェコ	プラハ	世界選手権
26	●	5—17	"	"	"
11.7	●	7—15	西ドイツ	西ベルリン	"
9	●	9—10	デンマーク	ハノーバー	"
11	●	5—9	ユーゴ	ポッフム	"
13	○	6—5	ポーランド	ドルトムント	"
10.28	○	15—12	リトビノフ	メジロビ	チェコスロバキア親善試合
28	○	21—4	ロコモチワ	"	"
31	○	16—8	トレンチヌス	ブラチスラバ	"
31	○	16—9	フロホベツ	"	"
11.1	○	9—7	ニトラ	ニトラ	"
1	○	16—7	ルジアンスキー	"	"
2	○	14—8	ニトラ	"	"
4	○	33—4	アルマツ	ウスチラベ	"
14	○	12—8	西ドイツ・ナショナル	ブッベタル	西ドイツ
16	○	14—4	プレーメン	プレーメン	"
18	△	9—9	ハンブルグ	ハンブルグ	"
20	○	16—6	フランクフルト	フランクフルト	"
23	○	17—13	フランスナショナル	パリ	フランス
24	○	27—2	U.S. イブリー	イブリー	"
25	○	13—8	F.S. コロンブス	パリ	"
26	○	16—2	ステラ	サンモール	"
27	○	12—2	西洋選抜	ナント	"

23戦 17勝 5敗 1分け

のだ。しかもポーランドには前回の7、8、9位決定戦に10—16で敗れている。日本チームが世界選手権で勝ったのは1964年3月6日(バルドビツ)の男子世界選手権で日本がノルウェーを18—14で破っていらいのもの。

この体育館は西ドイツでいちばん大きい。満員の観衆は日本を応援する。心強い。カメラのフラッシュ、テレビのライトで会場は相当地な熱気である。ポーランドのスコアオフ。日本はなかなかフォアメーションが組めず、シュートも惜しいところではずれる。7分早川が左下へ先取点をあげる。8分20秒早川が追加点をあげて2—

0。好調である。10分20秒笠原が左45度からジャンプシュート。これが見事決まって日本3—0。これでひと安心。なおも攻撃の手をゆるめず、攻めまくる。11分20秒鈴木が中央から右下にゲットして4—0。ここで一気に勝負に出ようとして、久連松、永井を出したが、得点できなかった。19分30秒レギエンにロングを決められたが、前半4—1リードする。

最高の出来

きょうのデイフェンスは最高の出来だった。ポーランドにロングを許さず、ポストプレーも完全につぶしていた。それにしても前半に得点機を5度もつぶした。特に得意の速攻のタイミングが合わない。後半になると動きが重くなった。心配だ。しかし4分50秒にあざやかな速攻を展開、宇井が右サイドから飛び込んで5—1と再び4点差にした。このころからポーランドは、デイフェンスを浮かしてカットをねらう作戦に出た。だが10分30秒早川がまたも左下に決めて6—1。ポーランドは完全にプレス戦法に切り替えた。

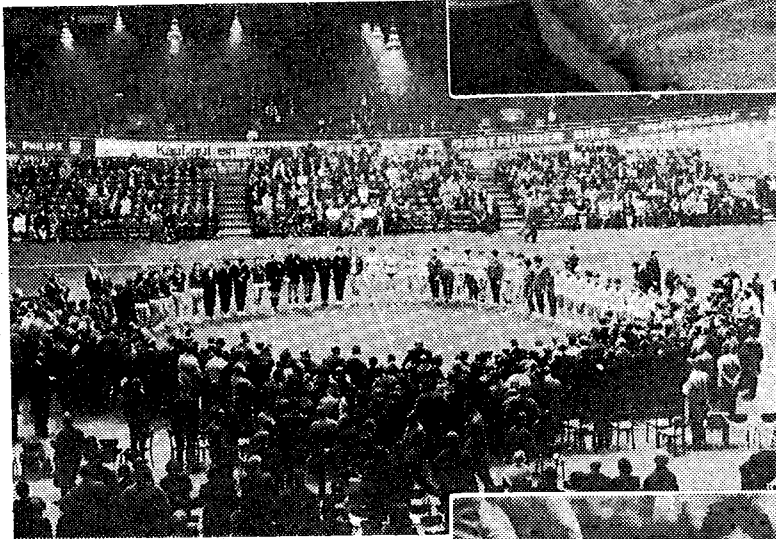
勝って泣き出す

日本の選手の中には、これで逃げ切ろうとする意志が見えてきた。ベンチから大声を出しても、全然通じない。時間の立つのが長いこと。これほど感じたことは、いままではなかった。12分からはポーランドのプレスに圧倒され、19分20秒ハリユノピカに決められて6—5と1点差。残り時間は40秒。早川は鈴木、早川が連続シュートしたが決まらず、やがてタイムアップのホイッスル。スコアは6—5。日本は勝ったのだ。そして7位になったのだ。

選手たちはこのホイッスルを聞いても、勝ったのか、負けたのかわからない。ベンチが静かだったので、選手たちはしばらくぼう然としていた。カメラマンが殺到する。「おい、日本は勝ったんだぞ」の大声をかけたなら、選手たち

～世界選手権から～

久連松のシュート →
(日本対ユーゴ)



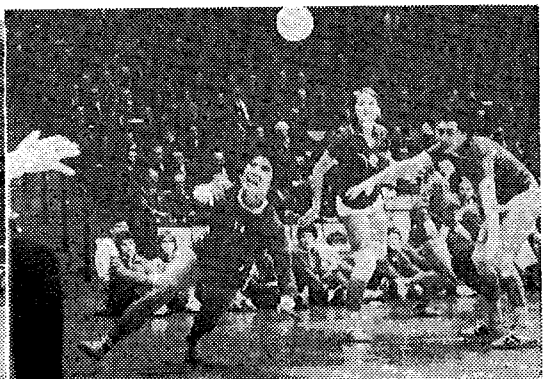
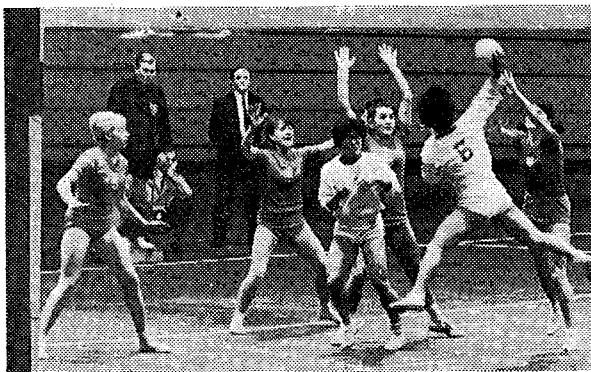
世界選手権大会
← 閉会式

鈴木、猛然と突っ込む →
(日本対ポーランド)



〔左下〕 早川のジャンプシュート
(日本対ポーランド)

〔右下〕 笠原のシュート
(日本対ユーゴ)



は「わーん」といっせいに泣き出した。だれがなんといおうとも、試合には勝たなければならぬ。また勝つためには、あらゆる犠牲を払わなければならない。IHFのワグナー、西ドイツのピリング、ヒック、チェコのポシエックがとびついてくる。「おめでとう」の連発。こんなうれいことはない。今夜は選手たちと初めてビールで乾杯しよう。

親善試合 日本 楽勝

▽11月20日(午後7時、フランクフルト体育館)

得	0	0	0	0	2	1	2	0	0	0	1	0
日本	0	0	0	0	2	1	2	0	0	0	1	0
フランクフルト	0	0	0	0	2	1	2	0	0	0	1	0
ゲルト	0	0	0	0	2	1	2	0	0	0	1	0
フリー	0	0	0	0	2	1	2	0	0	0	1	0
フゼリ	0	0	0	0	2	1	2	0	0	0	1	0
メシ	0	0	0	0	2	1	2	0	0	0	1	0
セザ	0	0	0	0	2	1	2	0	0	0	1	0
ガシ	0	0	0	0	2	1	2	0	0	0	1	0
フス	0	0	0	0	2	1	2	0	0	0	1	0

本谷崎井松原川木藤井保
日古川宇久笠黒早鈴加永新
得00320212213

〔評〕前半10分ごろ、鈴木が腹を強打されて倒れた。顔が真青になり、内臓破裂かと心配したが、単なる打撲とわかってホッと

た。試合は後半に日本が得意の走をみせて圧勝した。

フランスにも大勝

▽11月23日(午後9時15分、ポルトドリシー体育館)

得	0	0	5	1	1	0	1	1	0	2	2	0
日本	0	0	5	1	1	0	1	1	0	2	2	0
フランス	0	0	5	1	1	0	1	1	0	2	2	0
アニ	0	0	5	1	1	0	1	1	0	2	2	0
シエル	0	0	5	1	1	0	1	1	0	2	2	0
メネ	0	0	5	1	1	0	1	1	0	2	2	0
ヌラ	0	0	5	1	1	0	1	1	0	2	2	0
ミシ	0	0	5	1	1	0	1	1	0	2	2	0
エニ	0	0	5	1	1	0	1	1	0	2	2	0
エニ	0	0	5	1	1	0	1	1	0	2	2	0
ニル	0	0	5	1	1	0	1	1	0	2	2	0
ブル	0	0	5	1	1	0	1	1	0	2	2	0
エニ	0	0	5	1	1	0	1	1	0	2	2	0
ブル	0	0	5	1	1	0	1	1	0	2	2	0
エニ	0	0	5	1	1	0	1	1	0	2	2	0
ブル	0	0	5	1	1	0	1	1	0	2	2	0

本谷崎井松原川木藤井保
日古川宇久笠黒早鈴加永新
得00440322410012

〔評〕試合開始30秒、まず笠原が左45度から右上すみにロングを決めて先行。3分宇井が右サイドから左下すみに、次いで4分久連松、笠原が飛び込み、宇井が7MTを決めて4-0と日本リード。しかし相手もナショナルチーム。ようやく反撃に転じ、9分には4-3と1点に詰められた。10分の

とき、フランス選手のシュートが鈴木に当たり、めがねが完全にこわれた。鈴木は血で真っ赤になってその場に倒れる。すぐ救急車で病院にかつき込んだ。私(高嶋)はこのあとの試合を見なかつた。一段落してコートに帰ってきたらタイムアップのホイッスル。日本が17-13で勝った。

日本大勝

▽11月24日(午後10時、イブリー体育館)

得	0	0	0	0	0	4	0	3	0	1	0	0
日本	0	0	0	0	0	4	0	3	0	1	0	0
フランス	0	0	0	0	0	4	0	3	0	1	0	0
ジャン	0	0	0	0	0	4	0	3	0	1	0	0
ルロン	0	0	0	0	0	4	0	3	0	1	0	0
ジャン	0	0	0	0	0	4	0	3	0	1	0	0
ルロン	0	0	0	0	0	4	0	3	0	1	0	0
ジャン	0	0	0	0	0	4	0	3	0	1	0	0
ルロン	0	0	0	0	0	4	0	3	0	1	0	0
ジャン	0	0	0	0	0	4	0	3	0	1	0	0
ルロン	0	0	0	0	0	4	0	3	0	1	0	0

〔評〕このチームは昨年まで6年間もフランスのチャンピオンだった。昨年初めてコロンブスに負けたとか。体育館が広く気持ちのいいゲームができた。日本のワンスайд。イブリーの会長は「こんな

なはずではなかつたんだが」と頭をかいていた。

日本3連勝

▽11月25日(午後10時15分、パリ郊外コロンブス体育館)

得	0	0	0	0	0	4	0	3	0	1	0	0
日本	0	0	0	0	0	4	0	3	0	1	0	0
フランス	0	0	0	0	0	4	0	3	0	1	0	0
コロン	0	0	0	0	0	4	0	3	0	1	0	0
コロン	0	0	0	0	0	4	0	3	0	1	0	0
コロン	0	0	0	0	0	4	0	3	0	1	0	0
コロン	0	0	0	0	0	4	0	3	0	1	0	0
コロン	0	0	0	0	0	4	0	3	0	1	0	0
コロン	0	0	0	0	0	4	0	3	0	1	0	0
コロン	0	0	0	0	0	4	0	3	0	1	0	0

本谷崎井松原川木藤井保
日古川宇久笠黒早鈴加永新
得000000403010

〔評〕コロンブスはフランスのチャンピオン・チーム。シューズからユニホームまで新調し、ものすごい意気込み。ナショナル・チームのメンバーが4-5人いる。なかなかよくやっている。きょうはこの体育館のコケラ落とし。市長以下市役所のお歴々が詰めかけた。体育館は狭くて暗い。フランス人はどういふものか、暗いのが好きらしい。前半5-5。コロンブスは大喜びで勝つ気でいるらしい。

ステラに大勝


▽11月26日(午後9時、サンモール、ステラ・ホール)

得	0	0	0	0	0	4	0	3	0	1	0	0
日本	0	0	0	0	0	4	0	3	0	1	0	0
フランス	0	0	0	0	0	4	0	3	0	1	0	0
ステラ	0	0	0	0	0	4	0	3	0	1	0	0
ステラ	0	0	0	0	0	4	0	3	0	1	0	0
ステラ	0	0	0	0	0	4	0	3	0	1	0	0
ステラ	0	0	0	0	0	4	0	3	0	1	0	0
ステラ	0	0	0	0	0	4	0	3	0	1	0	0
ステラ	0	0	0	0	0	4	0	3	0	1	0	0
ステラ	0	0	0	0	0	4	0	3	0	1	0	0


〔評〕試合は日本の大勝に終わったが、ステラ・スポーツのクアレス会長が日本チームの世話をよくやってくれた。クアレス会長は「私たちが1964年に日本へ遠征したとき、日本から受けた親切には及ばないが」という。よ

品質と技術を誇る

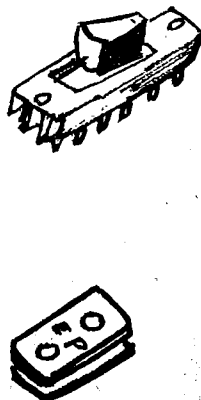
金型設計製作

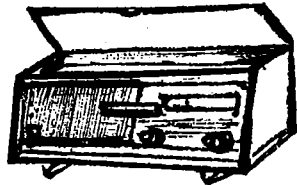


プラスチック成型



部品組立





MUNEKATA



株式会社宗形製作所

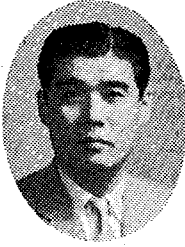
本社工場 大阪府高槻市辻子241番地
 TEL. 高槻(5) 1191-55051・5052

関東営業所 横浜市西区久保町49番地
 TEL. 横浜 ② 4 9 6 4 番

みんなで大バックアップを

渡 辺 和 美

(東京都協会会長)



7年 後のオリ
リンピ
ックと
いうて
も、すぐやってくる。のんびりし
てはられない。正式種目になっ
た以上、いまからすぐオリリンピ
ック対策を立てるべきだ。ハンドボ
ールはマイナー・スポーツとして
冷たい目で見られがちである。だ
からみんなが、より以上に努力し
なければならぬ。他人まかせで
なく、いますぐスタートしよう。

オリリンピック対策—私はまだ日
本協会がどのような構想を持って
いるか知らない。1967年1月
の第6回男子7人制世界選手権大
会の構想もまだできていない。こ
とし12月の第12回全日本選抜ハ
ンドボール選手権大会から優秀選手
を選出してナショナル・チームを
編成するそうだが、これが掛け声
だけに終わることなく、終始一貫
した方針のもとに実施に移しても
らいたい。それが1972年のオリ
リンピックに通じることだ。

日本協会の高嶋君は精力的な人
である。40日以上海外遠征でか
なり疲れていることと思う。日本

協会の諸君は高嶋君のよきアシス
タントとして協力してほしい。協
会あげて協力体制をとることが、
すべての第一歩となる。高嶋君は
今回のヨーロッパ遠征で、IHF
の首脳部とオリリンピック対策につ
いて具体的な話し合いをしてきた
と思う。これを基礎資料としてオリ
リンピック対策を立てることだろ
う。おそくとも昭和41年2月の全
国評議員会までに、世界選手権、
オリリンピックへの構想をまとめて
提出してほしい。

この構想の中には、ナショナル
・チームの編成、強化合宿計画、
ヨーロッパチームの招待、日本チ
ームの海外遠征など意欲的なスケ

中学の必修課目に

万代 秀三郎

(北海道協会理事)



ハン
ドボー
ル競技
が19
72年

ジュールが織り込まれるものと思
う。日本協会にすべてをまかせる
のでなく、地方の都道府県協会も
、学連も、実業団連盟もバックア
ップすることを忘れないことを全
国のハンドボールの諸兄にお願
いしたい。

すばらしい プレゼント

栗 協 巒

(愛知県協会理事)



朝日
新聞の
朝刊に
197
2年度

開催のオリリンピック競技種目の中
にハンドボールが取り上げられて
いたのを見て、「快哉」を叫ぶと
ともに、実にいいタイミングだと

思った。
小、中学校指導要領の改訂機運
の最中に、こんなすばらしいプレ
ゼント。これをのがすことなく、
このニュースを軸として改訂の中
にハンドボールを是が非でも入れ
るように、日本協会の関係者にお
願いしたい。

指導普及部において、声をから
し、文書でもって普及を、指導を
頼んでも、徐々にしか効果は現わ
れない。改訂の中に入れることに
よって、いままでも実施したくても
実施できなかった地方、都市にお
ける運動場の点で、サッカーを無
理に実施していた学校などでは、
爆発的に実施に移されるのではな
いか。そのためには、指導要領の
中に入れるような学習内容の研
究、指導過程なども問題として早
急に解決する必要性に迫られると思
います。直感した一部分のみ。

遠征の結果を見ても樂觀できな
い。この競技の普及が第一の条件
だ。底辺の広さがよい選手を生み
出す。まず中学校から必修課目
に、未組織の地域への指導員の派
遣など、層の広さの獲得に積極的
な対策を望む。ほとんど道南地方
に限られている北海道のハンドボ
ール界。全道に三百二十もある高
校で、その1割にも満たない普及
率では寂しい。

練習に全力を

嶋田 重春

(富山県理事長)

私もハンドボールマンにとっ
て待望久しかったオリリンピック参
加。東京大会においても実現でき
なかつたことは、非常に残念なこ
とでありました。しかし、それま
でに献身的な努力をしてきた日本
ハンドボール協会幹部の方々には
心から感謝しております。我が国
におけるハンドボールの普及状態
と競技力向上度は、まことに目ざ
ましいものがあり、オリリンピック
参加の条件をじゅうぶんに備えて
いると確信している。国際的立ち
場を検討した場合、必ずしも樂觀
を許さない。次期1968年度メ
キシコ大会、そしてまた1972
年度欧州大会実施種目となるに
は、国際的視野に立つてその条件
を熟慮し、かつ、即時実行に移す
べき段階にあると思います。この
ため国際ハンドボール協会は、直
に細密にして強力な活動を展開す
べきであり、日本ハンドボール協
会もアジアにおいて重大な使命を
負うべきであります。日本全国の
ハンドボール各位!!私どもにな
しうるオリリンピック参加の条件獲
得運動の要諦は、一日一日の練習
に全力を尽くすことかと考えられ
ます。どうかがんばってください。

まず強化対策を 外国チームとの交流を

馬場 太郎
(日本協会副会長)



ことし10月9日、マドリドで
行なわれた国際オリンピック委員会(IIOC)総会の最後の議題として、1972年(昭和47年)のオリンピック大会(開催地未定・多分欧州)のプログラムについて討議の結果、ハンドボール、柔道、アーチェリー(洋弓)の3競技を含むIIOC公認の全21競技を実施することに決定された。したがって、ハンドボールは1936年(昭和11年)第11回ベルリン大会のとき(6カ国の参加、ドイツ優勝)いらい36年ぶりの復活。このことは全国20万の競技者にとって、よろこびと希望を持たせる朗報である。とともに40年来ハンドボールの道を歩んで来た私にとっても、感慨無量なものがある。

国際連盟の加盟国は欧州各国をはじめとして南北アメリカ、アフリカ、アジアの諸国で、64年7月現在で34を数えている。とくに今後はA・A諸国において増加の傾向にあるので、アジア地区の派

オニアである日本としては、今後残された六年余りの日時をアジア地区の開発と普及に努力したい。オリンピック憲章の第4節第30条のプログラムの項に、競技のプログラムは競技大会開会の少なくとも2年前に国際オリンピック委員会に提出して承認を受けなければならない。また団体競技については16カ国を越えることができないと明示されている。各地区(ゾーン)の予選を通過したチームが出場することになる。この限られた16チームに日本がくい込まなければならぬ「難関」の一つと、女子は団体競技に出場できない点がある。東京大会にパレーボールの採った男女合計16チームのワク内にしほった場合を考慮合わせてみると、これは今後国際ハンドボール連盟(IHF)がIIOCに計画を提出して承認を受ける必要が生じてくる。日本としては、男女両チームがプログラムに認められる場合を想定し、今後すべてこの後に沿って計画を立ねばならない。

まず、内には協会としての強化対策の樹立、その裏付けとして経済的な問題、人口の倍増と、よき伯楽によって優秀な素材を発見し、育成することである。外には、外国チームとの交流をどんなに行ない、身体的なハンディをいかにカバーするかの問題がポイントであろう。ハンドボール界の避地にある日本としては、広く眼を共産圏及び西欧の強力チームに向け、それぞれの対策が絶対的に必要となってくる。「繊細」な技術

綿密な計画を

福島 富造
(東北ハンドボール連盟理事長)



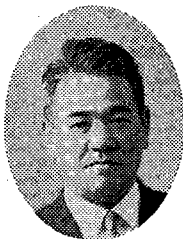
1972年のオリンピック大会

と脚力の必要性と、リーチの広い、比較的ラフなプレーの東欧諸国に対する研究などは海外交流により、身を持って体験するよりほかに方法がなからう。私たちは百年の大計のため、今日より与えられた6年有余の歳月を新構想によってスタートし、マインナー・スポーツからメジャー・スポーツへの脱皮の転機としなければならぬ。

ク大会は同好者はもちろん、国民も多大な期待を寄せている。だから責任の回避は許されない。日本ハンドボール界の浮沈にかかっているといっている。われわれ協会関係者は綿密な計画のもとに決意して進みたい。この意味において、この機会はあすのためにまたとない希望と発展を与えてくれたと確信してやまない。

実を結んだ努力

村山 寛
(岡山県協会会長)



1972年のオリンピック

ハンドボールが参加ということは、この道に精進する者の一人として無上の喜びだ。これまで数多くの外交交渉が、会長をはじめ理事長その他の役員の方々の努力によって実を結ぶことができたと思っている。ほんとうによかった。昭和35年に倉敷青陵高校校庭において第11回高松宮賜杯全国高校選手権大会が行なわれ、開会式に高松宮殿下から次のおことばを頂きました。「ハンドボールもいよいよ1964年東京でのオリンピックの正式種目として認められ参加することになると思います。我が国のハンドボールも急速に技術的、精神的にもいちじるしい発展を上げてまいりました。4年後のオリンピックにはこの若いみなさん方の中から、数多く出られると思います」と申されました。宮さまの申されたように、オリンピック東京大会にはいっていただけないと思うと残念でなりません。これから大いにがんばらう。

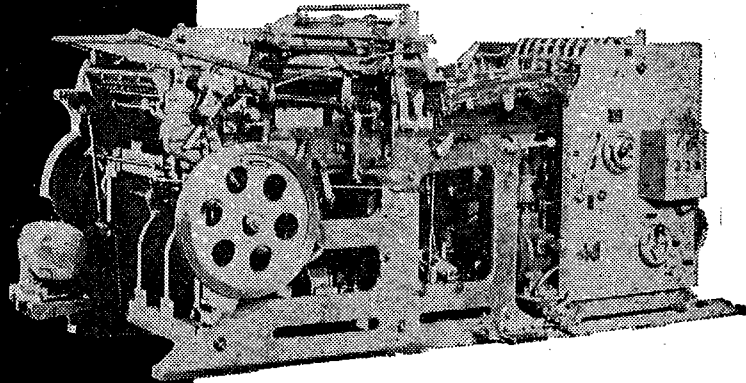
(註)〔参考〕④、ベルリン大会は11人制のフィールドハンドボール。⑤、ヘルシンキ大会にエキシビジョンとして11人制のフィールドハンドボール。

8

自信をもって推奨する!

千代田の

自動凸版印刷機(手差兼用)



仕	様
最大印刷面積	560×390m/m (1.85×1.30尺)
胴寸法	203φ×560m/m
金ローラー数	付(1本)練(1本)
ゴムローラー数	付(3本)練(2本)元(1本)
重量	1,200kg(本機) 350kg(給紙機)
所要動力	1HP(本機) ½HP(給紙機)
印刷速度	40~57枚/分
給紙方法	エヤー給紙
可能紙の種類	24.5K~150K
据付面積	1332W×2738D×1400Hm/m
紙置高	450m/m

千代田印刷機製造株式会社

本社：東京都千代田区神田猿樂町1の4
TEL(292)2011(代)~8
横浜支社：横浜市西区高島通り1の7
TEL(045)(44)6572・7358
福岡支社：福岡市上小山町3
TEL福岡(3)3960・0153
立川工場：東京都昭島市郷地町90
TEL(0425)(2)2470・4383
九州工場：佐賀県小城郡牛津町
TEL牛津72

国内外の永年の辛苦実る 新しい力の台頭を期待

杉山 茂



IOC (国際オリンピック委員会) 委員

(NHK名古屋放送局・慶大出)

回を追うごとに広がるため、競技種目の最高を18に制限したのは遠い昔のことではなかったはずだ。正直のところ、18種目というラインを引かれた以上、ハンドボールは、オリンピックの公式種目でありながら、半永久的に聖火の下で競技を展開することは不可能ではないかという悲観を私は持っていた。それがあっさり1972年の大会(開催地は来春のローマでのIOC総会で決まる)から全種目を実施することに決めたというのだから、IOC総会というのはいつものことながら「怪物的な存在」だ。

その無定見さにはあきれるのだが、ハンドボール関係者にしてみればこれ以上の「朗報」はない。ハンドボールの国際的な普及度は第2次大戦後、急カーブを描いている。「ドイツだけのスポーツ」

る。それだけに、この決定は感無量である。「今度はほんとうにだいいじょぶだろうか」といちゃまつの不安を感じ得ないのも無理からぬことであろう。期待と不安が交錯する中で、さらにもう一つ注目すべき問題が起きている。

10月のIOC総会席上「夏季大会のプログラムとなつてはいる室内競技を冬季大会に移してはどうか」という動議が出され、その可能性を研究する特別委員会が設けられることになったことだ。オリンピック・ハンドボールが室内競技で行なわれることは、現在の国際情勢から推して確定的と思われる。となれば、ハンドボールが冬季大会のプログラム加えられることはじゅうぶん考えられる。1972年の冬季大会開催地の有力候補として、札幌市がすでに名乗りをあげていることはご承知の方も多はずだ。オリンピック・ハンドボールが日本で開かれるという想像してもみななかったことが起こりえないとは限らない。

10月16日に開かれた「札幌冬季五輪招致委員会」は、室内競技実施という決定に備えるだけの用意は、今からしておく必要があるという意見が多数を占めたと伝えられている。日本(札幌)開催問題はともかく、球界には世界選手権と並び二つの目標ができた。特に現在、高校球界の低学年にある者

は「7年後」に大きな夢を描いている。30年にならうとする球界にかつてこれほど「ハリ」を感じさせるものがあつたらうか。オリンピックという大目標が生まれた以上、過去の一切のいさざつを捨てて、新しい潮が球界に流れることを私は心から期待したい

ナショナルの結成へ 越智 武

(愛媛県協会理事)



全国ハンドボール愛好者の希望の希望

ていたものである。それから30年以上の年月のあとに、正式種目となったのだから感激である。オリンピック参加、目的完遂のため、私案をご覧に入れます。

- (1) ナショナルチームの結成
- (2) コーチング・スタッフの確保と指導力の養成
- (3) ジュニアの養成

一丸となつて

山田 計

(大阪協会理事)



1972年のオリンピックの実施

と念願のオリンピック参加が、1972年にいよいよ実現することになった。長い間の関係者の努力が実ったことは、全国津々浦々の同好の士にとってこの上もない感激である。オリンピックは参加するに意義ありとか、否、スポーツには参加する以上、勝利は欠くことのできない必修の条件である。よい成績をあげ、国民の期待にそわなくてはならない義務すら感じるのである。昭和15年に東京オリンピック開催が決まったとき、私は学校を卒業する年であった。ハンドボールが公開種目として実施されるだろうと大きな期待をかけたときであろう。

種目——若いハンドボールマンにとっては大きな目標ができた。いまから思えば、私たちがハンドボールを始めたころは陸上競技の一部として行なわれていた。やっと独立して他の協会と肩をならべ、協会の組織づくり、このときのことがなつかしい。東京オリンピックで実施できなかったことが残念でならなかったが、1972年のオリンピックを目ざし協会として早く全国の統一チームを結成してほしい。都道府県協会役員ならびに日本協会役員が一丸となつてハンドボールの意気を大いに示すときであろう。

エールフランス

パリへの直行便 <北極回り>



ビジネスでヨーロッパへ旅行されるお客さまのために、エールフランスでは<北極回り>にボーイング707ジェット機を就航させております。

北極回り 東京発 午後 10時30分 <水・金>
パリ着 翌朝 9時5分

パリを中心として、ヨーロッパの各地にエールフランスの航空網が縦横にひろがっております。またエールフランスでは日本のお客さまのために、機上には日本人スチュワーデスを、ヨーロッパの各主要都市には21名の日本人駐在員を配置し、常にお客さまのお世話をいたしております。なお、南回りは<月・火・木・土・日>の午前10時30分パリへ向け就航しております。

AIR FRANCE

LE PLUS GRAND RÉSEAU DU MONDE

à Votre Service



東京都港区赤坂溜池 エールフランスビル 電話(584)1171代表
大阪市東区大川町淀屋橋 勤銀ビル 電話(202)6326代表

東京都千代田区日比谷 三井ビル 電話(501)6331代表
名古屋市中村区広井町3-88 大名古屋ビル 電話(54)0540

学校教育としての「ハンドボール入門(2)」

ジャン・ピエブーム
アンドレ・デオム

ディフェンス

A. シュートに対するディフェンス(片手)

守備選手は攻撃選手に向かって前進。左腕をからだから離し、斜め下向きに前左にあげる。ひじを軽く曲げて事故を避ける。シュートを防ぐのはこの腕である。からだを少し横に曲げキーパーの視野を妨げないようにする。全員がこの練習をしなければならぬ、練習のときは、そでの長いシャツを着ること。またできるだけ両腕の利くシュート選手を使わないこと、

守備選手から15メートル離れて一列縦隊に待機。1人ずつ走ってシュート。シュートは守備選手から1・5メートルのところから行なり。徐々にシュートの強さを増すようにする。守備選手はシュートを防ぐ。

B. 顔の高さのシュートに対するディフェンス(両手)

両前腕を斜め前方に出して姿勢を整える。左または右へくるシュートに対しては両手を並べて防ぐ。

2人ずつ向き合う。距離は4メートル。一方がシュート、他方がディフェンス。

守備選手1人に対し、他選手は1・5メートル離れて一列縦隊に待機。1人ずつ走ってシュート。

選手3人が並ぶ。他選手は15メートル離れたところから走り、ジャンプする頭上シュート。3人並んだ守備選手も伸び上がって防ぐ。

フリースローの場合も前記練習と同じ、ただしシュート選手は3メートルの距離に位置し、足を地面から離してはならない。また壁を作っている守備選手もこの場合決してジャンプしてはならない。

フエイント

からだのフエイントは原則として相手を離すために用いられる。そのとき相手を離そうとする方向にある足を、相手の歩幅より向こうに決して持って行ってはならない。フエイントは相手から1・5メートルのところで行なうのがいい。

A. フエイントの準備練習

(1) ボールを地面におく。選手はボールを片手で取り、シュートの体勢にはいる。次にボールを下に置くという動作を間隔をおかずにやる。

(2) 円状に位置につき、中の

方へ向く。足の間のボールを片手で取り、隣りの選手の足の間へ置く。交互に両方の手で、左右両方向に練習をする。

(3) 片手でボールをつかみ、後ろから前へ、前から後ろへと腕を回転させる。

(4) 3と同じく腕を前面で回転させる。

(5) 同じく頭の上の水平面で回転させ、とっさにシュートできるようにする。

(6) 3、4、5の練習を走って行なう。

(7) 両足の間で8の字を書く。胸を前に曲げ、右手で前から両足の間へ持ってきたボールを左手で股の後ろから取り、前へ回す。次に右手で股の後ろから取り、前へ回す。同じことを繰り返す。

(8) 中を向いて円状に列ぶ。ボールを片手で横へ送って行く。

(9) 円状に並び、駆け足。ボールは2人で1個持つ。先生の合図でボールを地面に置く。次の者がそのボールを拾う。

B. フエイントの練習

フエイントはからだを前に移動して行なうのではなく、横に移動させて行なうものである。

(1) 2人ずつ1・5メートル

置いて相対する。ボールを持った選手は自分の器用さに応じ、左手または両手でボールを左ひざの上へ持って行き、うまく左へのフエイントをかける。次に右手のドリブルで右へ抜ける。

(2) 1と同じ練習をゴールの前で行なう。左へのフエイントをかけたあと、ドリブルで右へ抜け、あるいはドリブルなしで右へ抜けてシュートする。

(3) 2と同じ練習を走って行なう。守備選手に向かって走り、左へのフエイントをかけ、右へ抜けてシュートする。

(4) 3と同じ練習を、走る途中でパスを受けて行なう。この3、4の練習の場合、オーバーステップに注意すること。

(5) 1、2、3、4、と同じ練習を右へのフエイントにして行なう。左側に位置する守備選手を右へのフエイントで離し、左手のドリブルで抜き、右手のシュートをする。

(6) 守備選手の前に立つ。左へスタートするフエイント。守備選手の左側で右手のシュート。

(7) 3、4、5と同じ練習をスタート動作によるフエイントではなく、左へのシュートフエイントにより行なう。

(8) 3、4の練習と同じ要領で、攻撃選手は右のアンダーシュートのフェイントをし、ボールを右側の非常に低い位置まで持って行く。次に左側への腰を浮かせ、倒れ込みシュートを打つ。相手との距離が約1・5メートルのところでフェイントをするようにする。

(9) 7の練習と同じ要領で、右のアンダーシュートのフェイントのあと、腕を横に伸ばし、左側へバックシュートを打つ。この練習では足の位置が非常に重要である。右足を守備選手の右足の外側に置くようにしなければならぬ。そうしなければシュートを妨害される可能性が多くなる。

(10) 攻撃選手、守備選手ともゴールに背を向けて位置する。攻撃選手は右側へバックシュートをするフェイントを行ない、次に左側からアンダーシュートまたは普通の肩からのシュートを行なう。

ボールのキャッチ

胸から高いボールのキャッチには、親指を相接し、指を大きく開いておわん状にする。キャッチのとき、初めは腕を伸ばすが、堅くしない。次にボールに直接触れるときを曲げ、ボールの速度を落とさせる。低いボールのキャッチには小指を相接し、他の指を大きく開腕、ボールがはまり込む進路にお

わん状にする。

(1) 2人ずつ対面し、胸の高さに片手でパスする。パスを相手の動作で行なうよう練習する。

(2) 同じように高いパスとキャッチ。

(3) 高いパスを、腕を伸ばしジャンプしてキャッチ。

(4) ヒザの高さのパスとキャッチ。小指を相接した状態でキャッチすること。

(5) 前記の練習を走って行なう。また距離を長くし、強さを増し、モーションを早くして行なう。

(6) バウンド・パスを行なう。

(7) 3人が一線上に位置し、端の者がボールを持ち、他の2人はボールを持った者の方を向く。真ん中の選手の足の間を通して、他方の端の者へバウンド・パスを送る。パスをして真ん中の選手と位置を入れ替える。

(8) 1対1または2対2で相対し、バウンド・パスの失点争いをさせる。2個のイスをある間隔をおいて置き、その後ろにそれぞれ選手が立つ。ボールをイスの間でバウンドさせるパスを送る。ボールがイスに触れると1点減点、またキャッチが悪いと1点減点とする。

(9) 3人と2人が2列に並び相対する。3人の列の端の選手は2人の列の方へ向かって走り、途中から2人の列の端の選手にバウ

ンド・パスをし、そのまま2人の列の後ろにつく。パスを受けた選手は同じことを行なう。

(10) ボール1個を地面に置き、そこから数メートル離れて待機。走ってボールを拾う。手をスプーンのようにして拾う。次に2メートル先にボールを置き、元に戻る。最初は右手で拾い、次は左手で拾う。ボールを数個並べて練習を行なってもよい。ボールを拾うには、手をスプーンのようにして片手でボールを取るのがいい。

しかし、この方法は不安定であるのでじゅうぶん練習すること。

(11) 10の要領でボールを拾ったあと、シュートする。

以上のキャッチ練習はすべて正面からのものである。しかし横から、あるいは斜めからさらに山形になるボールの後ろでのキャッチなどにも備えることも必要である。また片手でのボールの受け止め動作を練習しておけば、すぐれたプレーヤーとなる。

(12) ボールを上投げ、片手のできるだけ高く伸ばしキャッチする。ボールが手に触れるとき、腕は伸びていなければならない。

(13) 12と同じようにして、片手でボールを自分の頭を越えて投げ、もう一方の手で取る。

(14) 2人ずつ相対し、パスする。片手でボールを受け、ボールの速度を落とさせて自己の自由に

し、そのままパスを返す。

(15) 2人ずつ同じ方向に駆け足。サイドパス。片手でボールを受け、ボールのスビードを落とし、そのままパスを返す。

(16) コーチはイスの上に立ち、片手でボールを持ち、下に向けて。選手はそれに向かって走り、片手でボールを取り、ステップを2または3歩取ってシュート。ステップを取らないでシュートする練習も行なう。

(17) 円状に並び、時計の針の方向に進むようにする。最初は停止、合図により前進、次に駆け足また停止。その間にボールを前の者にパスする。前の者は後ろからくるボールを手のひらを後ろへ向けて片手で受け取る。パスは手のひらを前へ向けて行なう。そしてボールの数をふやす。

(18) 17と同じ要領でボールを前から後ろへパスする。手のひらの回転にマスターすること。

(19) ゴールから数メートルのところへ2人が横に並んで位置する。1人がパスをし、もう1人はそれを片手で受けてスビードを落とし、そのままシュートする。

(20) 前方でジャンプした選手にパス。ジャンプした選手はボールを受け、ボールのスビードを落とし、そのままシュートする。初めは受けてから3歩または2歩のステップを取ってもよい。次に優

日本ハンドボール協会公認球

一番よく使われて居る!
セッター



サービス部
新宿区新宿2丁目電停前
TEL (341)2979・1016

望月運動用品KK

東京都墨田区横川橋4丁目6
TEL 本所 (622) 0746

秀選手にならうとするなら、エリア・ラインの中へジャンプしてボールを受け、そのまま地面に着く前にシュートするようにする。

パス

パスはあらゆるボール競技に共通の要素であり、その練習には限度がない。ここではパスを実施するに当たって、テクニクの細部にまではいる必要はないと思う。ただ美しいプレーを望むなら、パスをじょうずにこなす必要があることを強調しておきたい。ここでは、ハンドボールに特有のパスの練習方法をまとめて取り上げておく。これらの練習方法には、進歩の程度に応じて取られねばならない厳密な順序といったものはない。むしろすでに見てきたシュートの練習に役立つといったものもある。

- (1) 円状にならび、中を向く。両手で腰の位置から横へパスする。8人以下で円を形成するのがいい。ボールの数を順次ふやしていく。
- (2) 1と同じ練習を、ボールが10周するタイムを取り、3ないし4つのグループで競争させる。
- (4) 2人ずつ横にならび、ボールに向かって進む。両手で腰の

位置からのパスを行ないながら進み、次にダッシュして進み、最後にシュートする。

- (4) 円状にならび、歩幅を小さく駆け足。円の中の方へからだを回し、後ろの者に両手でパス。手はできるだけ長くボールを持っているようにする。8人の円でボールを2〜4個使う。
- (5) 3と同じ練習を、パスをして進んでいる2人の選手、少し後ろからスタートする3番目の選手を入れて行なう。3番目の選手は失格でシュートができない。
- (6) 1列縦隊に位置する。片手のバウンド・パスを後ろの者に送る。初め停止した状態で行ない、次に歩きながら、さらに走りながら行なう。
- (7) 6と同じように円状にならび、6と内側の手でパスを行なうこと。
- (8) 6、7の要領でパスをバウンドさせないで、後ろの者の胸の高さに行なう。
- (9) 6、8の要領で1回ごとに後ろへのバウンド・パスと、後ろへの胸の高さのパスを交互に行なう。
- (10) コート上に大きな8の字を書き、3人がその線を進む。

両手で腰の高さからのサイドパスを送る。

- (11) 2人ずつゴールに向かつて、コート中央からサイドラインに沿ってスタート。次にゴールに對し、斜めに進入する。左側からスタートする者が、ボールを持ってドリブルで進行し、右側から進入してくるもう1人の前へはいり、両手で後ろへのパスをする。この右側から左側へ斜めに進入してきた選手はパスを受け、そのままドリブルで進み、ゴールの右下コーナーへ腰からのシュートを打つ。
- (12) 11と同じ要領で右側の者がボールを持ち、ドリブルでゴールに向かい、斜めに進入。左側から右利き選手が斜めに進入。右側選手はクロスする前に左側選手の前へ出て、守備選手を引きつけておいてから後ろになる左側選手へ両手パス。この左側から進入してきた選手は、パスを受けてから進路をクロスさせそのままドリブルで斜めに進入し、からだを90度回転させ、左下コーナーへシュートする。
- (13) 2人ずつ横に位置し、片方が前向きとすれば、他の1人は後ろ向きとなるようにそれぞれ反対方向を向く。右手で背中の後ろ

第6回男子7人制世界選手権展望

ルーマニアの優勝か
日本の善戦に期待

第6回男子7人制世界選手権大会は1967年1月、スウェーデンで開催される。この大会には16チームが参加する。今回は25カ国が参加を申し込んでおり、すでに予選が始まっている。この予選通過チームの予想を見ていくことにしよう。

ルーマニア(前回優勝) スウェーデン(主催国) 日本(アジア大陸代表) の3チームは予選なしで出場することに決まっているが、他の22カ国はそれぞれに予選を通過しなければならぬ。

(アメリカ大陸代表) 米国対カナダ (アフリカ大陸代表) エジプト対チュニジア (東地中海地域代表) ユーゴスラビア

以上の6カ国はそれぞれの国で各1試合計2試合を行なう。アフリカ大陸代表はまずエジプトに間違いないというのが大方の評判である。また前回りっ

ばな成績をあげ、その後の国際試合で不敗のルーマニアに土をつけたユーゴはイスラエルと対戦するが、ユーゴが圧倒的に強い。

アメリカ代表は見当がつかない。両国とも協会結成が浅い、日が浅い。国際試合の経験も少ない。実力がどのくらいなのか全くわからない。どちらが出るにしても本大会ではさほどの活躍は望めない。

以上2チームから1チームを選抜する3組の試合のほかに、ヨーロッパ諸国間で行なわれる3チームないし4チームのリーグ戦が五組ある。これらの各組は、総当たり2回戦(自国で1回ずつ)のリーグ戦を行ない、上位2チームが本大会に出場することになっている。第1組はデンマーク、ポーランド、アイスランド。各チームは4試合ずつ行なう。まず競技歴が古く、いつも世界選手権で大活躍のデンマークが確実視されている。もう一つの席はポーランド、アイスランドで争う。

からパスする。からだの前で両手でボールを受け取る。

(14) 13と同じ練習を左手で行なう。

(15) 13、14のパスを走って行なう。2列横隊にある距離をおいて向き合ってならぶ。両端の者が相手に向かって走り、途中ですれ違ふとき、このパスを行なう。パスをする位置を決めておくこと。

(16) 円状に中を向いて位置する。左へパスのフェイントをして、右へパスの練習をする。すなわち、右手にボールを持ち、右から左へ腕を下側から持って行きパスのフェイントをする。次に新たに腕を下側で左から右へ180度回転させて右へボールを投げる。また下側から左へ持って行ったあと、上を通過して180度回転させ、右へ投げる。

大型の編成を

藤田信義

(山口県協会
理事長)



「10月9日のI O C総会で197

2年オリンピック大会にハンドボールの復活決まる」一多年の念願であるこのニュースは、日本はも

(17) 円状にならば、初めは停止、次に前進、駆け足。腕をゆさぶって前へのパスのフェイント。

次に後ろへ腕を振り、後ろに続いてる者にボールをパス。初めは4人にボール1個、次に3人に1個、2人に1個とふやしていく。

(18) 17と同じ練習をバウンド・パスで行なう。

(19) 奇数人数が円状にならび、中を向く。星形になるよう円陣パス。パスの相手を変えない。最初はボール1個で行ない、次にボール数個を入れる。ボールが衝突しないよう、直接のパスとバウンド・パスを使い分ける。

(20) 円状に中を向いて位置する。1人が中央にはいる。中央にパスし、ボールの後ろから中央に行く。次に中央でボールをもらい、外側にパスし、ボールの後ろか

ら外側の位置に行く。

(21) 偶数人数が円状に中を向いて位置する。円を横切ってパス。パスしてボールの後ろを追う。

(22) 偶数人数が円状に位置する。隣の者にパスし、対角戦上の者と位置を交代する。ボール2個使う。初めは教師の合図で位置を交代する。次は自分の判断でスタート。

(23) パスを背中の後ろからのサイドパスにして、22と同じ練習を行なう。

(24) これまで述べてきた各種のパスとフェイントを、15の要領でチェンジ・パスで行なう。

(25) 24の練習を2人だけで行なう。パスをすると、お互いに相手の後ろを回り、半回転して元の位置に戻る。この練習は肉体的に激しい練習である。(続く)

とより全世界の各関係者いかに喜ばせたことか。考えて見ると、第11回ベルリン大会(1936年)に正式種目になっていらい36年、待望の東京大会に実現できなかっただけに、そうは喜んでばかりいられない。韓国の実力はまことに強力である。また全日本男子チームの中国遠征(1勝8敗)で、初めて中国の「強さ」を認識させられた。現在、アジア予選にも勝つことは疑問である。そのためには、(1) 早急に中学校体育

指導要領への復活を図ること(2) 科学的トレーニングの徹底実施(3) スピードのあるたくましい選手養成(3) 根性づくりの徹底(4) 大型ナショナルチームを編成、外国との交流を図ることが必要であり、ぜひ実現すべきと思う。なお、これを機会に、アジア諸国の普及発展も日本に課せられた一大使命ではなからうか。オリンピックを目ざして各ハンドボール関係者の奮起を望む。

第2組はチェコ、ノルウェー、オーストリア。ここでは絶対確実なのがチェコ。残る一つはノルウェー、オーストリアになる。

第3組は東ドイツ、ソ連、フィンランド。このグループはまずソ連、東ドイツは問題ない。フィンランドはよほどの努力しないとむずかしい。

第4組はハンガリー、フランス、スペインの3国。ここにはずば抜けた力を持っている国は一つもない。実力伯仲といったところ。どこが出るにしても、本大会での上位チームにはいる見込みは薄い。予選リーグとしては最もおもしろいグループとなる。

第5グループは4チームでリーグ戦を行なう。西ドイツ、スイス、オランダ、ベルギーの4チーム。まず確実なのは西ドイツ、残る一つをオランダ、スイス、ベルギーで争う。

本大会に出場がほぼ確実なのはルーマニア、スウェーデン、日本(以上決定)、デンマーク、チェコ、東ドイツ、ソ連、西ドイツ、ユーゴ、アラブ連合の10カ国。残る6つのイスを残る15カ国が争う。ルーマニア、スウェーデン、デンマーク、チェコ、ユーゴ、東西ドイツ、ソ連の

中から優勝チームが出るのでは

ないか。呼び声の最も高いのは、前回優勝のルーマニア、これら強豪に対して日本がどこまでやるか。それも一つの見どころになるのはアフリカ、アメリカの代表がどこまでやるか。また日本の善戦は興味の的。

国内だより

宇形製作所に女子部

宗形製作所(大阪府高槻市)は41年4月から女子チームを結成する。すでに人選も終わったという。レナウン工業(大阪)が再登場すると、大阪府下には女子実業団チームが2チームとなる。大阪協会の村田先生が協力しているという話。

41年盛岡、42年和歌山

インター・ハイ開催地

高体連で昨来年の全国高校ハンドボール選手権大会を8月3日から8日まで若手県盛岡市で、また42年度は和歌山市で開くことに決めた。また43年度は広島県下で行なわれる公算が大い。

故 式場会長に黙とう

鴛 尾 武 治

○：式場さんがなくなつた。あの日(11月21日)私は日曜勤務で社にいた。午後三時に勤務が終わるので東京選手権大会を見に行く予定にしていた。二時半ごろ社会部から「日本ハンドボール協会の式場会長がなくなつた」と連絡してきた。すでに死亡記事は準備されていたので、ものの5分とたたないうちにこのニュースは全国へ流れた。私はすぐ東京体育館にいる東京都協会の渡辺会長に電話でお知らせした。渡辺会長もビックリした。3時すぎに体育館に行き、閉会式まで見物。閉会式のとき、渡辺会長は「このうれしい表彰式の席上で申しわけないが、式場会長がきょう午後死去されました。ここに謹んで黙とうを捧げたいと思います」それまでざわめいていたあの広い体育館は一瞬静かとなり、渡辺会長の「黙とう」の声に、選手はじめ観客まで黙とうし、日本ハンドボール界の功労者、式場会長のごめい福を祈つた。

楽 書 帖

さあーたいへん。すぐ119番に電話して救急車呼び、近くの慶応病院へ……。とりあえず荒川清美先生(日体大)へ付き添いとなり、このあと渡辺会長、外山理事長が病院へ見舞いに行った。湯田君のけがはレントゲン検査の結果、たいしたこともなく、1時間後に帰宅。一同ホッとひと安心。ところが翌日、大崎電気金の田君が左マブタの上を二針も縫うけが。このほかもう一件あって計3回救急車のお世話になった。

○：東京都の渡辺会長は、日本女子チームが世界選手権大会で準決勝リーグに進出するというので「いまから西ドイツへ行く」と言いだした。これが11月4日のこと。すぐ航空会社へ連絡して手続きを開始、そして5日夜のルフトハンザ航空機で出発。その間、まる一日。とにかくあわただしい24時間だった。そして16日夜帰国、「ポーランドに勝ったときは、うれしかったね。でもデンマーク戦も日本が勝っていたんだが、レフェリーがデンマークに有利に判定した。ああいうことはよくないな。でも7位になった。男子は昨年の大会(チェコ)で11位、これから男子にも大いにがんばってもらわなきゃ。」と早くも闘志満々。

○：12月5日に女子チームが帰国した。予定より2時間半遅れた。フランスから米国を経由し、ホノルルで2泊してじゅうぶん休養をとったのか、元気いっぱい。ホノルルには大崎電気の前社長友人がいて、日本チームのめんどうみてくれたとか。

時 評

今回の日本女子チームのヨーロッパ遠征は、技術面で大成功だったと思う。ヨーロッパ各国に比べて3年ぐらいい遅れているのではないかと心配したが、(1)大会終了後の国際試合で西ドイツ(世界選手権第3位)を12-8で破った(2)世界選手権でデンマークに1点差で敗れはしたが、ポーランドを破って7位にはいった(3)フランス・ナショナルチームを一方的に破った——ことが、これを完全に打ち消してくれた。世界選手権大会の計6試合は1勝5敗と、かならずしもいい成績とはいえないが、そのほかの公式国際試合、親善試合は全勝である。

親善試合のなかには、その国のナショナル・チームの選手が多数参加している。そのチームをワンスайдに押しつけたのは、どうひいき目に見てもりっぱである。大いにほめてやるべきだ。日本女子のレベルがこんなに上がっているとは思わなかった。これで日本ハンドボール界も大いに自信を持ったことだろう。A P、UPI、ロイター、DPA(西ドイツ)など外国通信社の電報を見ても、ほとんどが日本の技術を高く評価している。「からだは小さいが、プレーは非常に速い。しかもインテリジェンス・プレーは賞賛的である。日本の将来は恐るべきものがある」とびっくりしているくらい。

集められるだろうか——ということだ。選手13人のうち、何人が3年先の女子世界選手権に行くか。今回の7位という地位を次の大会でどこまで伸ばすか。これは関係者にとって大きな関心事である。3年先の女子世界選手権、7年先のオリンピックのビッグ・イベントにどう対処していくか。オリンピックはいま白紙の状態である。というのは参加チームは全然未知数。男子を16にするのか、男子8、女子8にするのかは次回のIOC総会で決まる。オリンピックはあと回しにしても、3年先の女子世界選手権で上位入賞を目指す手当てをどうするか。今度のメンバーがガラリと変わった場合、すべてはふり出しに戻るのではないか。私はそんなことを心配している。

この心配を一挙に解決する道は、ただ一つある。それはナショナル・チームを確立することだ。女子は結婚という大きな仕事がある。選手の入替えは当然ある。この場合、毎年優秀選手をナショナル・チームに投入して強化して行く。次の対策をすぐ立てること(幸)

すぐ次の対策を！
ふり出しに戻すな

技術と経験が生む

国際的水準の

SUPERO

高温 高压 弁

岡野バルブ製造株式会社

本社・門司工場 北九州市門司区大字大里3353番地 電話(38)代1131番
行橋工場 福岡県行橋市大字福富1200番地 電話 行橋26, 926番
東京営業所 東京都中央区日本橋小舟町2の1小倉ビル 電話(661)3422~3番
大阪営業所 大阪市東区瓦町2丁目三和ビル 電話(231)5781番

Aibo

シャツ

ブラウス

カーテン

デニム

各種原糸



＝繊維総合メーカー＝



あなたに しあわせを

アイボー

愛知紡績株式会社

名古屋市中区南園町2丁目4
(営業所) 東京、大阪



芝浦工大、堂々と5連勝

同志社大の反撃ならず

王座決定の成績

回	年度	場所	対戦校・スコア
1	昭23	西宮	宮文理大 5-4 関学
2	24	駒沢	沢関学 5-4 日体大
3	25	西宮	宮関学 5-3 早大
4	26	駒沢	沢関学 8-7 立大
5	27	西宮	宮関学 9-7 日体大
6	28	神宮	宮関学 13-11 早大
7	29	西宮	宮関学 9-6 日体大
8	30	神宮	宮日体大 10-9 関学
9	31	西宮	宮芝工大 9-8 関学
10	32	後楽園	園芝工大 21-11 関学
11	33	西宮	宮関学 12-10 芝工大
12	34	国立競技場	場芝工大 24-17 関学
13	35	西宮	宮関学 12-11 芝工大
14	36	東京	京芝工大 18-13 同大
15	37	西宮	宮芝工大 19-8 同大
16	38	新宿体育館	館芝工大 25-17 同大
17	39	府立体育館	館芝工大 24-12 同大
18	40	駒沢体育館	館芝工大 27-18 同大

▽レフェリー 安藤(法大出)

芝浦工大 27 (9|18|9) 18 同志社大

に5連勝を記録した。

この結果、芝浦工大は同志社大とリードした。後半同志社大は必死に反撃したが、芝浦工大はこれを振り切り、第14回大会いらい5連勝、通算8度目の優勝を飾った。

試合は前半13分まで6-6の接戦が続けたが、その後芝浦工大は速攻にものをおい寄せ、前半18-9とリードした。後半同志社大は必死に反撃したが、芝浦工大はこれを振り切り、第14回大会いらい5連勝、通算8度目の優勝を飾った。

同志社大 32 (16|16|4) 12 広島商大

第6回西日本学生王座決定戦は11日13日大阪市中央体育館で同志社大(関西)と広島商大(中四国)の間で争われ、同志社大が前半で試合を決め5連勝した。

西日本王座に同志社大

(写真は芝浦工大、山田選手の飛び込みシュート)

得点
0 0 2 2 3 6 3 2 0 0 0
大谷保葉 藤田 浦井本品
同林和稻佐齋飯 林 松川守薬
芝浦 山近青近吉 関山小岩竹
得点 0 0 7 2 5 4 5 4 0 0 0

27 (4) 7 MT (1) 18

投げ良い 受け良い

ダイヤモンド型(32面体)

モルテン ハンドボール



日本ハンドボール協会 公認球

モルテン工業株式会社

同志社大、9回目の優勝

関西学生 秋季リーグ 攻守に精彩欠いた京大

関西学生秋季リーグ戦は10月24日から関大体育館で開幕。11月13日まで大阪市中央体育館、京都市体育館、大阪府立大体育館などで一、二部合わせて56試合が行なわれた。一部は春の優勝校京大に精彩がなく、前半で早くも2敗して優勝争いから脱落。同志社大、関学、関大の対戦に焦点が絞られたが、第6日に同志社大が接戦のすえ、関学を破った1勝が優勝へつながり、2シーズンぶり、9回目の優勝となった。同志社大は、これで秋季リーグに5年連続優勝である。

二部は大阪府大が2シーズンぶりで優勝したが、入れ替え戦では敗れ、一部昇格は成らなかった。

▽一部

関学	36	(22 14 5 4)	9	立命大
同大	26	(15 11 7 6)	13	大阪経大
京大	14	(9 5 9 3)	12	桃山大
関大	23	(11 12 6 6)	12	甲南大
同大	14	(9 5 9 3)	12	桃山大
京大	14	(9 5 9 3)	12	桃山大
関大	23	(11 12 6 6)	12	甲南大
同大	14	(9 5 9 3)	12	桃山大
京大	14	(9 5 9 3)	12	桃山大
関大	23	(11 12 6 6)	12	甲南大

関学	16	(7 9 5 6)	11	甲南大
大阪経大	19	(11 8 9 9)	18	京大
関大	26	(16 10 5 6)	11	立命大
同大	21	(13 8 7 4)	11	桃山大
同大	20	(11 9 9 2)	11	立命大
関大	28	(18 10 6 7)	13	桃山大
関学	29	(15 14 13 6)	19	大阪経大
京大	17	(8 9 11 4)	15	甲南大
関大	27	(14 13 4 6)	10	大阪経大
関学	22	(11 11 7 8)	15	桃山大
立命大	16	(7 9 8 7)	15	京大
同大	25	(13 12 3 7)	10	甲南大
甲南大	14	(7 7 7 6)	13	大阪経大
立命大	19	(13 6 8 9)	17	桃山大
関学	26	(14 12 9 5)	14	京大

同大	12	(10 2 3 5)	8	関大
大阪経大	14	(10 4 6 7)	13	立命大
甲南大	19	(10 9 3 6)	9	桃山大
同大	18	(12 6 11 6)	17	関学
京大	20	(12 8 12 7)	19	関大
桃山大	22	(13 9 8 7)	15	大阪経大
甲南大	20	(10 10 4 3)	7	立命大
関学	18	(9 9 9 9)	18	関大
同大	16	(9 7 7 6)	13	京大

【順位】①同大7戦全勝②関学5勝1敗1分け③関大4勝2敗1分け④甲南大3勝4敗(得点率0・502)⑤京大3勝4敗(0・474)⑥大阪経大2勝5敗(0・409)⑦立命大2勝5敗(0・368)⑧桃山大1勝6敗

【二部順位】①大阪府大

▽一、二部入れ替え戦

桃山大 16(7|9|9|9) 大阪府大(二部) 15(7|6|6|6)

この結果、桃山学院大は一部に残留。

中京大、男女に優勝

東海学生秋のリーグ戦は11月3日から14日まで名古屋周辺で行なわれた。男子は今季も中京大が一方的な試合を続けて全勝、12シーズン連続13回目の優勝。また二部は三重大が優勝、来季から一、二部6校制となるため自動的に一部に昇格した。

新発足の女子は三校によって争われたが、中京大が攻守に一日の長をみせて初優勝した。

▽男子一部

中京大	30	(17 13 3 4)	7	南山大
名大	20	(8 12 5 10)	15	岐阜大
愛知大	36	(18 18 11 5)	16	南山大
学芸大	21	(11 10 5 2)	7	名大
中京大	21	(11 10 5 2)	7	名大
岐阜大	24	(11 13 10 10)	20	学芸大
愛知大	19	(11 8 8 4)	12	名大
学芸大	19	(11 8 8 4)	12	名大
中京大	26	(11 15 9 6)	15	岐阜大
南山大	19	(6 13 11 4)	15	名大
中京大	20	(12 8 5 2)	7	学芸大
岐阜大	17	(7 10 8 7)	15	南山大

【順位】①中京大4戦全勝②愛知学芸大2勝2敗(得点率0・5



ミカサボール

ハンドボール


ミカサボール

明星ゴム工業株式会社

33) ③岐阜大2勝2敗(0・4
67) ④名大⑤南山大

【二部順位】

①三重大6戦全勝
②愛知大4勝2敗(得点率0・5
71) ③静岡大4勝2敗(0・5
43) ④名工大4勝2敗(0・5
23) ⑤中部工業大(11今季新加
盟) ⑥滋賀大⑦三重県立大

▽女子

中京大 7 (4 | 3 | 1) 4 中京女大
中京女大 23 (10 | 13 | 1) 1 松阪
中京大 15 (6 | 10 | 1) 1 松阪
女短大

【順位】

①中京大②中京女大③
松阪女短大

東北学院大の連勝続く

第10回(昭和40年度)東北・北
海道学生選手権大会は両地区5大
学が参加してリーグ戦で行なわれ
たが、東北学院大があぶなげなく
勝ち、3年連続、6回目の優勝を
飾った。

北	大 24	(10 14 1)	11	山形大
東北	大 23	(13 10 4)	12	岩手大
東	大 27	(20 7 1)	3	山形大
東	大 16	(9 9 3)	12	山形大
東	大 15	(6 9 4)	9	東北大
北	大 39	(20 19 10)	16	岩手大

東北大 14 (8 | 6 | 7) 13 北
大

東大 北 28 (15 | 13 | 6) 12 岩手大

東北大 29 (18 | 11 | 5) 3 山形大

東大 北 22 (11 | 11 | 2) 6 北
大

【順位】 ①東北学院大4戦全勝
②東北大3勝1敗③北大2勝2敗
④岩手大⑤山形大

金沢美工大勝つ

北信越学生秋季リーグ戦は10月
31日金沢大体育館で行なわれ、金
沢美術工芸大が春に続き連勝し
た。

金沢美大 18 (12 | 6 | 4) 7 金沢大

金沢美大 17 (9 | 8 | 4) 13 富山大

富山大 24 (13 | 11 | 9) 20 金沢大

【順位】 ①金沢美大②富大③金
大

広商大、岡大破り優勝

秋の中・四国学生選手権大会は
松山商大(愛媛)が姿を見せ、ト
ーナメント(7校参加)で優勝が
争われた。その結果、広島商大が
安定した攻守で勝ち進み、決勝で
も岡山大を破って6シーズン連続
6回目の優勝を飾った。広島商大
の優勝は、中・四国学連発足前を
加えると8回目。

▽1回戦

山口大 23 | 14 近畿大
工学部

広島大 15 | 13 山口大

岡山大 36 | 15 松山商大

▽準決勝

広島商大 23 (10 | 13 | 8) 17 山口大
工学部

岡山大 15 (5 | 10 | 6) 5 11 広島大

▽決勝

広島商大 26 (11 | 15 | 7) 15 岡山大

▽3位決定戦

山口大 18 (10 | 10 | 4) 10 広島大
工学部

▽敗者1次戦

山口大 28 | 10 近畿大
工学部

▽5位決定戦

山口大 13 | 8 松山商大

【順位】 ①広島商大②岡山大③
山口大工学部④広島大⑤山口大⑥
松山商大⑦近畿大工学部

西南学院大勝つ

九州地区大学体育大会ハンドボ
ール競技は11月22、23の両日、鹿
児島県立体育館に5校が参加して
リーグ戦を行ない、西南学院大(福
岡)が全勝、2年連続優勝した。

慶大"3大学"に初優勝

第5回早慶明定期戦は11月27日
早大記念会堂で開かれた。開会式
は故式場会長のめい福を祈って黙
とうがささげられ、引き続き3試
合を行なった。心・技に充実めざ

ましい慶大が、早・明を連破して
初優勝。早大の5連勝をはばんだ
なお第2試合は第19回慶明定期
戦を兼ね、対戦成績は慶大の10勝
9敗となった。

慶大 大 15 (9 | 6 | 9) 12 早大

慶大 大 23 (13 | 10 | 4) 18 明大

明大 大 22 (11 | 11 | 10) 20 早大

【順位】 ①慶大②明大③早大

関大、教大勝つ

秋の大学定期戦

▽第5回関大—中京大(11月21
日・関大)

関大 大 21 (12 | 9 | 5) 11 中京大

対戦成績は関大3勝1敗1分け

▽第8回教大—大阪経大(11月23
日・大阪経大)

教大 大 24 (12 | 12 | 8) 14 大阪経大

対戦は教大7勝1分け



日本ハンドボール協会公認球

ピコック印ボール

前田運動具製作所

東京・江東区大島町5-538 TEL (681) 9197・9198

関東2部は早大1位

三部は武蔵工大

◇二部

早大	順天	東大	法大	順天	防衛	早大	法大	法大	順天	早大	日大
22	28	30	18	22	18	16	15	33	27	15	19
11	13	16	11	14	17	15	10	11	10	14	7
防衛	東大	東大	東大	防衛	日大	東大	日大	東大	東大	防衛	東大
大	大	大	大	大	大	大	大	大	大	大	大

2勝	3勝	5勝	【順位】	早大	13	12	5	法大	22	20	25	15	21	33	23	20
4敗	敗	勝	①早大	15	13	2	5	法大	11	18	16	14	16	9	13	9
⑦東大	③防衛	①日大	③勝	②法大	③勝	③順天	③順天	③東大	③早大	③順天	③東大	③日大	③順天	③東大	③順天	③東大
⑦東大	③防衛	①日大	③勝	②法大	③勝	③順天	③順天	③東大	③早大	③順天	③東大	③日大	③順天	③東大	③順天	③東大
⑦東大	③防衛	①日大	③勝	②法大	③勝	③順天	③順天	③東大	③早大	③順天	③東大	③日大	③順天	③東大	③順天	③東大

武蔵工大	上智大	国士館大	千葉工大	国士館大	武蔵工大	関東学院	上智大	武蔵工大	上智大	武蔵工大	上智大	千葉工大	武蔵工大	上智大	国士館大	千葉工大	武蔵工大
17	23	25	17	25	22	31	25	16	26	23	20	19	32	27	19	32	27
12	17	17	12	12	16	18	12	11	12	14	12	11	12	17	11	12	17
千葉工大	理科大	関東学院	関東学院	理科大	上智大	理科大	武蔵工大	千葉工大	理科大	関東学院	国士館大	上智大	理科大	関東学院	上智大	理科大	関東学院

【順位】 ①武蔵工大 4勝1敗 ②国士館大 4勝1敗 ③千葉工大 3勝2敗 ④上智大 3勝2敗 ⑤関東学院 1勝4敗 ⑥理科大 5敗

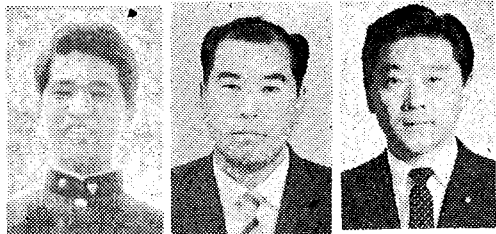
二、三部入れ替え戦で武蔵工大は二部に昇格、東京学芸大は三部へ転落。

◇女子
日体大(女) 優勝

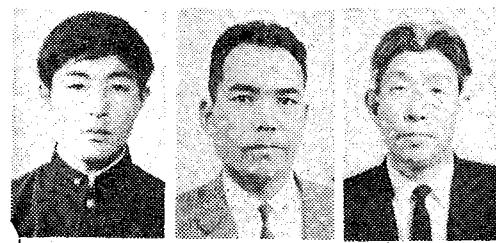
日体大	22	1	日体大
東女体大	11	7	日体大
日体大	12	4	東女体大
東女体大	11	4	日体大
日体大	17	2	日体大
日体大	27	2	東女体大
日体大	2	2	東女体大
日体大	2	2	東女体大
日体大	2	2	東女体大

高校男女、沖縄へ2度目の遠征

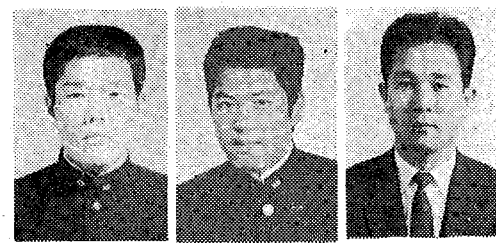
12月25日～1月4日



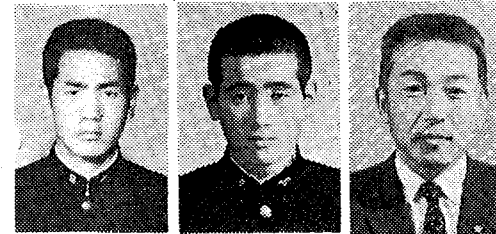
南一夫 (佐野工) コーチ 砂長誠 (茨城水海道二高) 総務審判 徳永陸繁 (世田谷工)



池田正明 (仙台一) マネジャー 岡前儀春 (東京第五商高) 監督 嶋田新太郎 (富山小杉高)



関勝之 (水見) 高橋健夫 (麻生) 監督 小袋晃郎 (福岡田川工高)



雨宮孝 (塩山商) 八沢久 (清水商) コーチ 中出盛雄 (大阪枚方高)



ミカドハンドボール

日本ハンドボール協会公認球



ミカド商会

東京・豊島・巣鴨・7丁目1696
TEL (941) 2635・6592



沖繩遠征の抱負
 團長 村山 寛
 (岡山倉敷青陵高校長)

遠征する以上はチームとして

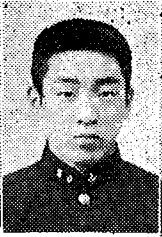
ワーク、つまり人の和が大切です。親善の使節として体調を整え、技術と根性として沖繩の人たちに覚えていただく。わずかな期間の練習とは思えないまで上達している。私は頭が下がった。全国各地から集まった優秀の選手たちなので、心配はないと思う。一戦一戦を真剣にたたかいて、沖繩の高校生との友情を温めてきたい。



小林八重子
 (静岡城北)



定塚隆子
 (高岡女)



白川則雄
 (函館有斗)



井上亮一
 (明石)



金子進
 (浦和市立)



中司千草
 (梅花学園)



小島晴美
 (名女商)



中下伊津子
 (山陽女)



藤中憲二
 (岩国工)



鈴木博隆
 (中京商)



山口みさ子
 (笠間)



黒木芙美子
 (新居浜西)



古川美重子
 (豊中)



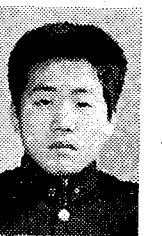
山口レイ子
 (明善)



小川恵子
 (栃木女)



塩崎信治
 (新居浜工)



有本充
 (名城大付)



沢田順子
 (室蘭商)



細川千枝子
 (栃木女)



浅井喜美子
 (山陽女)



垂水秀子
 (菊池農)



熊谷佑子
 (盛岡二)



榊 崇
 (大分商)



堤本知秀
 (和歌山商)

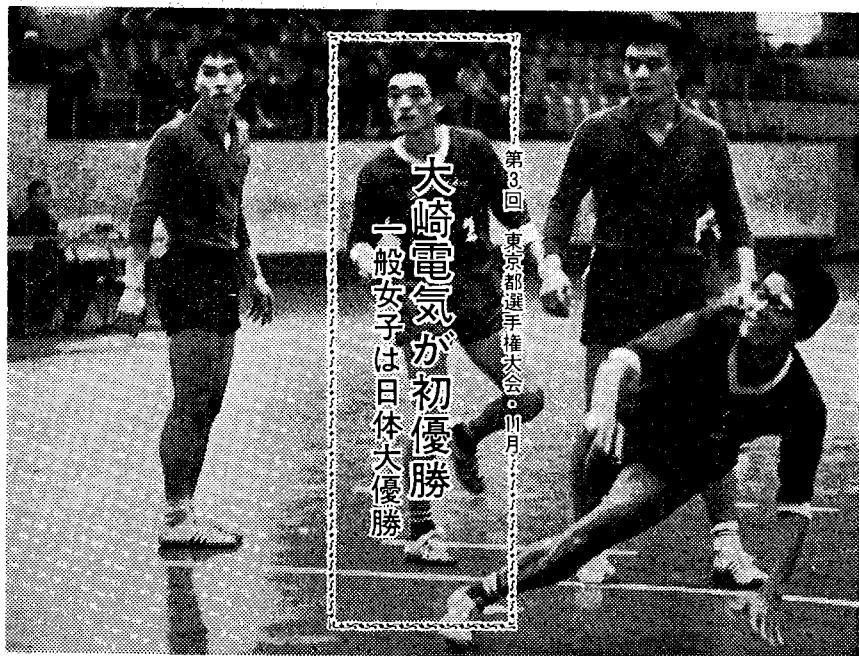
日本ハンドボール協会公認球

シムレスボール

ご用命は、もよりの
 運動具店へ

タチカラ株式会社

(271) 3318~9. (841) 6868



第3回 東京都選手権大会。前月
大崎電気が初優勝
一般女子は日体大優勝

第3回東京都ハンドボール選手権大会は11月18日から21日まで東京都体育館で行なわれた。一般男子は27、一般女子は4、高校は男女とも4、中学は男女とも2が参加。一般男子は第3シードの千代田印刷機が2回戦で法友クに14-15で敗れる番狂わせがあったが、決勝は予想どおり全立大対大崎電気の対戦となった。立ち上がりからは5-5とタイ。後半大崎電気は

速攻にものをいわせて、全立大15-12で破り初優勝した。一般男子はリーグ戦形式をとり、日体大が3戦3勝して初優勝、高校男子は明星が3連勝、高校女子は桜水商が初優勝した。

◇中学女子決勝
杉並中 6 (5-13) 4 横山中
◇中学男子決勝
深川五中 14 (17-14) 7 一國分寺
2 (1-0) 12

◇高校女子準決勝	小 平 16 (10-6) 6 12 佼成学園	◇同準決勝	大崎電気 28 (17-11) 14 早大学院
桜水商 14 (7-7) 3 7 神代	順天大 22 (9-13) 12 6 18 東大	法友ク 16 (1-10) 4 14 滴水会	大崎電気 28 (17-11) 14 早大学院
◇同決勝	法 大 19 (4-3) 6 6 14 慶大	法友ク 16 (1-10) 4 14 滴水会	大崎電気 28 (17-11) 14 早大学院
桜水商 11 (5-1) 6 7 小平	法友ク 24 (10-14) 8 3 11 安田生命	法友ク 16 (1-10) 4 14 滴水会	大崎電気 28 (17-11) 14 早大学院
◇高校男子準決勝	明 星 12 (5-7) 4 8 関東	滴水会 27 (13-14) 6 2 8 武蔵工大	大崎電気 37 (21-16) 6 6 12 法友ク
明 星 12 (5-7) 4 8 関東	明 大 31 (18-13) 5 3 8 連普通科	大崎電気 15 (10-5) 7 5 12 全立大	大崎電気 15 (10-5) 7 5 12 全立大
◇同決勝	中大付 18 (8-10) 2 5 7 神代	早大学院 23 (13-10) 6 8 14 若木ク	大崎電気 15 (10-5) 7 5 12 全立大
明 星 23 (14-9) 3 3 6 中大付	日体大 24 (12-12) 3 4 7 立大	大崎電気 15 (10-5) 7 5 12 全立大	大崎電気 15 (10-5) 7 5 12 全立大
◇一般女子リーグ	◇同2回戦	大崎電気 15 (10-5) 7 5 12 全立大	大崎電気 15 (10-5) 7 5 12 全立大
東女体代 15 (6-9) 2 4 6 日女体大	全立大 18 (7-11) 14 14 早大	大崎電気 15 (10-5) 7 5 12 全立大	大崎電気 15 (10-5) 7 5 12 全立大
東京重機 12 (4-8) 2 2 4 日女体大	教 大 26 (13-13) 7 5 12 日大	大崎電気 15 (10-5) 7 5 12 全立大	大崎電気 15 (10-5) 7 5 12 全立大
日体大 16 (9-7) 2 1 3 東女体大	中 大 24 (13-11) 7 6 13 順天大	大崎電気 15 (10-5) 7 5 12 全立大	大崎電気 15 (10-5) 7 5 12 全立大
東京重機 16 (8-8) 3 11 東女体大	法 大 28 (11-17) 15 12 27 日体大ク	大崎電気 15 (10-5) 7 5 12 全立大	大崎電気 15 (10-5) 7 5 12 全立大
日体大 16 (9-7) 2 2 4 日女体大	法友ク 15 (8-7) 7 7 14 千代田	大崎電気 15 (10-5) 7 5 12 全立大	大崎電気 15 (10-5) 7 5 12 全立大
日体大 16 (6-10) 8 4 12 東京重機	滴水会 20 (9-11) 6 5 11 明大	大崎電気 15 (10-5) 7 5 12 全立大	大崎電気 15 (10-5) 7 5 12 全立大
【順位】①日体大3勝②東京重機2勝1敗③東女体大1勝2敗④日女体大3敗	早大学院 19 (2-2) 5 10 8 7 19 国士館大	大崎電気 15 (10-5) 7 5 12 全立大	大崎電気 15 (10-5) 7 5 12 全立大
◇一般男子1回戦	大崎電気 23 (14-9) 10 4 14 日体大	大崎電気 15 (10-5) 7 5 12 全立大	大崎電気 15 (10-5) 7 5 12 全立大
早 大 27 (17-10) 10 5 15 桜友会	◇同準々決勝	大崎電気 15 (10-5) 7 5 12 全立大	大崎電気 15 (10-5) 7 5 12 全立大
日 大 41 (24-17) 4 2 6 教員	全立大 31 (15-16) 11 7 18 教大	大崎電気 15 (10-5) 7 5 12 全立大	大崎電気 15 (10-5) 7 5 12 全立大
教 大 39 (20-19) 4 2 6 徳高OB	中 大 23 (11-12) 5 5 10 法大	大崎電気 15 (10-5) 7 5 12 全立大	大崎電気 15 (10-5) 7 5 12 全立大

ハンドボール球史

～関学、球界に大きな足跡～

昭和24年度も引きつづき、関西学生リーグには、加盟校の変動が見られる。

校名の変更や出入りが激しかったことなど、15年もたった現在、その記録を整理するとなると、混乱を感じないでもない。

この年度の春季リーグは4月下旬に開幕している。

手元の資料では一部は関学、大阪商大、大阪第二師範、大阪工専、関大、京大、立命館大、大阪経専それに摂南工専の9校となっている。

9校によるリーグ戦が行なわれたかどうかはよくわからないが、最終日が6月4日ということから

判断すると約1ヵ月半36試合の消化はじゅうぶん考えられる。

スコアがわかっているのは、そのうちの13試合にすぎないが、完全収集へのステップとして掲載しておく。

なお、最終日に行なわれた関学—大阪工専は、当時の新聞(毎日)によると「一位決定戦」ということになっている。

同率による優勝決定試合だったのか、これに優勝が賭けられたというニュアンスなのか不明だが、ともかくも、関学の3シーズン連続3回目の優勝で閉幕したことは事実である。

▼昭和24年春季(一部)

大阪工専	5-1	3	大阪商大
関学	10-1	1	立命大
大阪商大	6-1	1	摂南工専
立命大	6-0	0	大阪二師
関大	6-1	1	大阪経大
大阪工専	乗権	京大	大
大阪工専	9-4	4	大阪二師
大阪商大	4-3	3	大阪経大
関学	18-1	1	京大
関大	1(分)	1	立命館大
立命大	2-1	1	大阪経大
大阪二師	5-0	0	摂南工専
関学	9-0	0	大阪工専

〔注〕この他の試合は記録不明

関学の連勝つづく

秋季リーグ(昭和24年10月)は1部6校、2部5校で行なわれていた。

前季1部で試合を行なったとみられる9校のうち京大、摂南工大(摂南工専)、大阪学芸大(大阪第二師範)が2部校になっている。春季リーグの下部3校ということになる。

なお、近大が新しく加盟したが、同校は大阪理工科大(昭和23年秋季3位)と大阪専門などが母体となったもので、復帰ともいえる。

しかしながら、その活動はこのシーズン限りで、後述の25年度のリーグでは、はやその姿を見ることができない。

学制改革などの影響で近大に限

らず、当時は部員集めに悩む学校が多かった。

▼昭和24年秋季(一部)

関学	2-0	0	関大
大阪工専	不戦勝	立命大	大
大阪商大	1(分)	1	大阪経大
関学	10-4	4	立命大
大阪工専	3-1	1	大阪商大
大阪経大	3-0	0	関大
関学	8-2	2	大阪商大
大阪工専	5-2	2	大阪経大
立命大	3-0	0	関大
関学	7-3	3	大阪経大
大阪商大	6-2	2	立命大
関学	6-1	1	大阪工専
大阪経大	1-0	0	立命大
大阪商大	3-1	1	関大

▼昭和25年春季(一部)

関学	7-5	5	関大
大阪経大	3(分)	3	大阪商大
関学	6-2	2	立命大
関学	6-1	1	大阪経大
関学	11-2	2	大阪商大
関学	3-1	1	立命大
関学	4(分)	4	大阪経大
大阪商大	6-1	1	立命大
大阪経大	5-3	3	立命大
関大	5-4	4	大阪商大

【順位】①関学5戦全勝(4シーズン連続・4回目)②大阪工専3勝1敗1分③大阪経大・大阪商大2勝2敗1分⑤立命大1勝4敗⑥関大1分4敗

【二部順位】①大阪学芸大4戦全勝②京大2勝1敗1分③摂南工大4神戸経済大⑤近畿大

各校の実力接近

昭和25年度は、いわゆる学制改革の影響がいちばん大きかった。春季リーグは1部5校、2部4校となり、前年好調の大阪工専も姿を消している。

摂南工大(2部)は大阪工大と校名を変えた。また、2部には浪速大が新加盟したが、同校は現在大阪府立大として健在である。

実力的には、ようやく各校が接近し、常勝関学が苦戦をひいられる試合も多くなり、大阪経大との一戦は引き分けに終わっている。2部は京大が優勝し、次季からの1部昇格を自動的に決めた。

再び一部6校に

秋季リーグ(25年10月)は、2部に神戸大、大阪大が登場して5校となり、一部は1年ぶりに6校

【二部順位】①京大3戦全勝②大阪学芸大1勝1敗1分③大阪工大1勝2敗④浪速大2敗1分

【順位】①関学3勝1分(5シーズン連続・5回目)②関大3勝1敗③大阪経大1勝1敗2分④大阪商大1勝2敗1分⑤立命館大4敗

ユニとはただ一つの意味

ユニとは品質の最高を表わし、また材料や工程の一つ一つに類がないことを表わします。ユニは唯一つ最高の鉛筆です。

GH-6B17硬度 1ダース ¥600

 **三菱鉛筆**



昭和四十年六月七日
第三種郵便物認可

昭和四十年十二月二十日印刷
昭和四十年十二月二十五日発行

発行所
日本ハンドボール協会

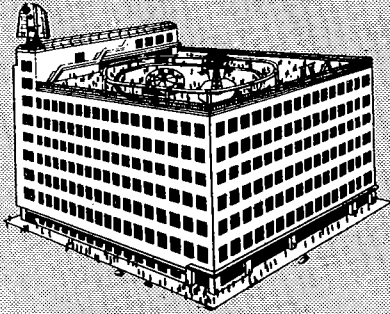
東京都渋谷区南町二五
電話六代字二一〇一
振替東京三〇四八番

編集兼
発行人

高嶋

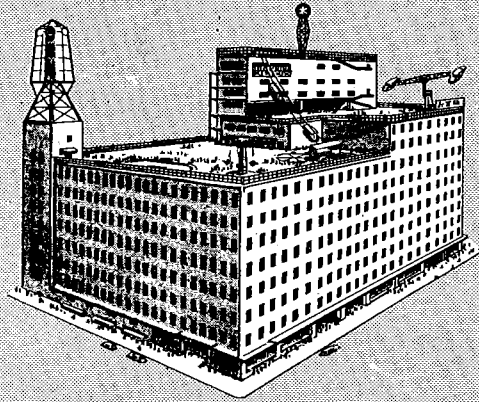
定価百三十円
（平）二十円

八代支店



ご家庭に
幸せをはこぶ
バラの包装紙

おくりものに
大洋の商品券
熊本八代両店共通



熊本本店



熊本市下通町1丁目3-10

大洋

TEL〈大代表〉2-1111